

年 報

(令和2年度実績)

静岡県工業技術研究所

令和4年2月

目 次

1 概 況

(1) 工業技術研究所の沿革	1
(2) 工業技術研究所全体の事業概要	2
(3) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要	4
(4) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの組織図	5
(5) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの職員	8
(6) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの決算	12
(7) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの主要購入機器設備	16

2 事業実績

(1) 試験研究、調査及び指導事務	17
ア 研究開発	17
(ア) 研究課題	17
(イ) 外部研究員招へい事業	26
(ウ) 特許等の登録及び出願	29
イ 技術相談等	30
(ア) 技術相談	30
(イ) 依頼試験	31
(ウ) 機器使用等	41
(エ) 研究会の育成	44
(オ) 研修生の受入れ	45
ウ 技術情報提供	46
(ア) 研究報告関係	46
(イ) 研究発表会関係	46
(ウ) 研究所情報等の提供	51
(エ) 研究所の事業広報等	51
(オ) 講習会等	52
(カ) 講師活動	55
(キ) 委員派遣	58
(ク) 産業技術連携推進会議等への派遣	69
(ケ) 学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展	73
(2) 令和2年度研究成果一覧	80
ア 工業技術研究所	80
イ 沼津工業技術支援センター	87
ウ 富士工業技術支援センター	89
エ 浜松工業技術支援センター	91

1 概 況

(1) 工業技術研究所の沿革

明治39年	3月	「静岡県工業試験場紙業部、漆器部、庶務部」を静岡市追手町に、「染織部」を浜名郡天神町村馬込（現浜松市）に設置し、同年11月に開場
大正2年	12月	「静岡県工業試験場」を静岡市水落町に移転
大正4年	9月	「染織部」を「静岡県工業試験場浜松分場」に改称
大正8年		「浜松分場」を浜松市北寺島町に移転
大正8年	12月	「静岡県工業試験場」を安倍郡豊田村南安東（後瓦場町、現静岡市葵区太田町）に移転
大正9年	2月	「静岡県工業試験場」を「静岡県静岡工業試験場」に、「浜松分場」を「静岡県浜松工業試験場」に改称
昭和12年	11月	「製紙部」を富士郡今泉村（現富士市今泉）に移転、「静岡県製紙工業試験場」を開設
昭和27年	4月	「静岡県浜松工業試験場」を「静岡県浜松繊維工業試験場」に、「静岡県製紙工業試験場」を「静岡県紙業指導所」に改称
昭和28年	1月	「静岡県静岡工業試験場」を静岡市安倍川町（現葵区駒形通5丁目）に移転
昭和32年	4月	「静岡県紙業指導所」を「静岡県製紙工業試験場」に改称
昭和36年	4月	「静岡県静岡工業試験場」を「静岡県工業試験場」に改称
昭和36年	6月	「静岡県工業試験場浜松分場」を浜松市小池町に設置
昭和38年	1月	「静岡県工業試験場浜松分場」を「静岡県機械技術指導所」と改称
昭和38年	12月	「静岡県製紙工業試験場」を吉原市伝法（後富士市伝法、現富士市永田北町）に移転
昭和42年	6月	「静岡県浜松繊維工業試験場福田技術指導所」を磐田郡福田町に開所
昭和57年	11月	「静岡県工業試験場」を現在地（静岡市葵区牧ヶ谷）に移転
昭和59年	4月	「静岡県工業試験場」を「静岡県工業技術センター」に改称
平成2年	4月	「静岡県工業技術センター」を「静岡県静岡工業技術センター」に改称 「沼津工業技術センター」を現在地（沼津市大岡）に開設
平成3年	4月	「静岡県製紙工業試験場」を現在地（富士市大淵）に移転し、機械・電子部門を加え、「静岡県富士工業技術センター」に改称 「静岡県浜松繊維工業試験場」と「静岡県機械技術指導所」を統合し、光・電子部門を加え、「静岡県浜松工業技術センター」として現在地（浜松市北区新都田1丁目）に移転、開設
平成19年	4月	「沼津・富士・静岡・浜松工業技術センター」を統合し、「静岡県工業技術研究所」とし、「沼津・富士・浜松工業技術センター」を「工業技術支援センター」と名称変更

（２）工業技術研究所全体の事業概要

地域産業に最も近い技術支援機関として、研究開発、依頼試験・設備使用、技術相談・人材育成、技術情報の提供、産学官連携の促進や周辺地域の公設試験研究機関との連携強化等を通じて、ものづくりを行う県内中小企業の技術開発や課題解決を支援している。

特に、地域に根ざした産業や県の産業振興施策である先端産業育成プロジェクトをはじめとする集積を目指す産業分野の技術（光・照明・音響、製紙、バイオテクノロジー、食品、環境エネルギー、生活製品）、工業全般の基礎となる技術（金属材料、高分子材料、機械・電子、情報通信）において、地域産業の振興、新たな産業の創出などの基礎となる技術力の向上を支援している。

近年は、急速な人口減少による人手不足の顕在化や自動運転などの著しい技術革新への対応など、中小企業を取り巻く環境は大きく変化しており、企業ニーズに対応した支援を推進するため、生産性向上を目的としたＩｏＴに関する研究支援、電気自動車を始めとする次世代自動車に関する研究支援、新たな素材として期待されるセルロースナノファイバー（ＣＮＦ）に関する研究支援について、工業技術研究所の各機関が連携した取組を進めている。

県内産業界を一体的に技術支援できる組織体制とするため、平成19年度には沼津・富士・静岡・浜松工業技術センターを統合し、工業技術研究所（静岡市）とし、その下に沼津・富士・浜松工業技術支援センターを配置した。

平成24年9月には工業技術研究所全体で、文部科学省から科研費応募資格を有する研究機関としての指定を受け、企業支援のための技術力向上に努めている。

さらに、これまでの窓口相談を拡充し、研究所及び各工業技術支援センターに平成26年3月から海外展開支援を含めた「ものづくり産業支援窓口」を開設したほか、商工会議所・商工会等との連携により、研究員が直接企業に出向く出張相談の強化や遠隔地での相談に対応する臨時窓口を設置するようにした。さらに、平成28年10月にはデザイン相談窓口を開設し、デザインに関する相談やデザイナーとのマッチング等の支援を強化した。

これらにより、企業が取り組む研究開発、製品設計・生産、品質管理における技術課題の解決のための支援が強化された。

○ 主要事業

ア 研究開発

新成長戦略研究、経常研究、共同研究、受託研究を行い、地域産業の技術基盤の強化や先端技術の開発による産業支援を行う。

イ 依頼試験・設備使用

地域企業の新製品開発や性能評価のため、依頼試験や試験機器・施設等を開放し、技術支援を行う。

ウ 技術相談・人材育成

中小企業の技術相談や各種研修会・講習会を開催し、地域産業の技術力向上に努める。

エ 技術情報の提供

研究所のウェブサイトやメールマガジン、センターニュース、また各種技術講演会を通じて、地域の中小企業を中心に、製造技術や製品開発に必要な技術情報を提供する。

オ 産学官連携の促進

静岡県工業技術研究所産学官連携推進コーディネータを配置し、地域企業の技術情報の共有化や研究開発の支援などを通じた地域企業、大学、支援機関との連携強化を図っている。

他県の公設試験研究機関との連携を密にするため、関東経済産業局管内の首都圏公設試験研究機関連携体（首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ（TKF））や、中部経済産業局管内の中部イノベネットに参画し、情報交換や広域連携による域内企業の支援強化を進めている。また、関東甲信越静地域の公設試が連携して中小企業の海外展開を支援する組織（広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP））に参加し、域内企業の海外進出を技術面から支援している。

カ 先端産業創出プロジェクト等の推進

先端産業創出プロジェクト（ファルマバレープロジェクト、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト、フォトンバレープロジェクト、次世代自動車プロジェクト、ふじのくにCNFプロジェクト、マリンバイオオープンイノベーションプロジェクトなど）による産業イノベーション拠点の形成事業や中小企業の成長分野への進出を支援する新成長産業戦略的育成事業と相互に連携することにより、新技術・新製品の開発を促進する。

(3) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要

ア 工業技術研究所(静岡市)

(ア) 敷地面積	23, 157 m ²	
(イ) 建築面積	7, 659 m ²	
(ウ) 延床面積	13, 091 m ²	
○管理棟	鉄筋コンクリート4階建	2, 250 m ² (管理部門)
○研究棟	鉄筋コンクリート4階建	4, 130 m ² (研究部門)
○研修棟	鉄筋コンクリート平屋建	270 m ² (講習・研修施設)
○実験棟	鉄骨平屋建	2, 719 m ² (実験施設)
○開放棟	鉄筋コンクリート3階建	1, 680 m ² (開放試験・共同研究施設等)
○資料館	鉄筋コンクリート2階建	460 m ²
○付属棟		1, 582 m ² (設備棟・薬品庫等)

イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

(ア) 敷地面積	19, 958 m ²	
(イ) 建築面積	3, 892 m ²	
(ウ) 延床面積	6, 219 m ²	
○管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート3階建	4, 384 m ² (管理・研究部門、開放試験)
○実験棟	鉄筋コンクリート平屋建	648 m ² (実験施設)
○付属棟		305 m ² (廃水処理施設等)
○インキュベートセンター	鉄骨平屋建	882 m ²

ウ 富士工業技術支援センター(富士市)

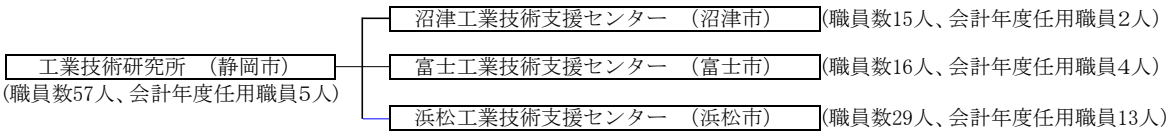
(ア) 敷地面積	20, 075 m ²	
(イ) 建築面積	4, 433 m ²	
(ウ) 延床面積	8, 801 m ²	
○管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート3階建	5, 346 m ² (管理・研究部門、開放試験)
○実験棟	鉄筋コンクリート3階建	2, 414 m ² (実験施設)
○付属施設		165 m ² (車庫・駐輪場等)
○インキュベートセンター	鉄骨平屋建	876 m ²

エ 浜松工業技術支援センター(浜松市)

(ア) 敷地面積	28, 238 m ²	
(イ) 建築面積	5, 792 m ²	
(ウ) 延床面積	11, 142 m ²	
○管理研究棟	鉄筋コンクリート4階建	5, 023 m ² (管理・研究部門)
○開放棟	鉄筋コンクリート2階建	1, 276 m ² (開放試験・共同研究・講習研修施設)
○実験棟	鉄筋コンクリート2階建	3, 309 m ² (実験施設)
○付属棟		128 m ² (排水処理施設・薬品庫等)
○車載機器EMCテストサイト	鉄骨平屋建	531 m ² (実験施設)
○インキュベートセンター	鉄骨平屋建	875 m ²

(4) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの組織図

令和2年4月1日現在の工業技術研究所の組織及び業務分担は、次のとおりである。
職員総数は事務職員12人、技術職員98人、再任用職員7人、会計年度任用職員24人の計141人である。



ア 工業技術研究所（静岡市）

職員数は事務職員5人、技術職員47人、再任用職員5人、会計年度任用職員5人の計62人である。

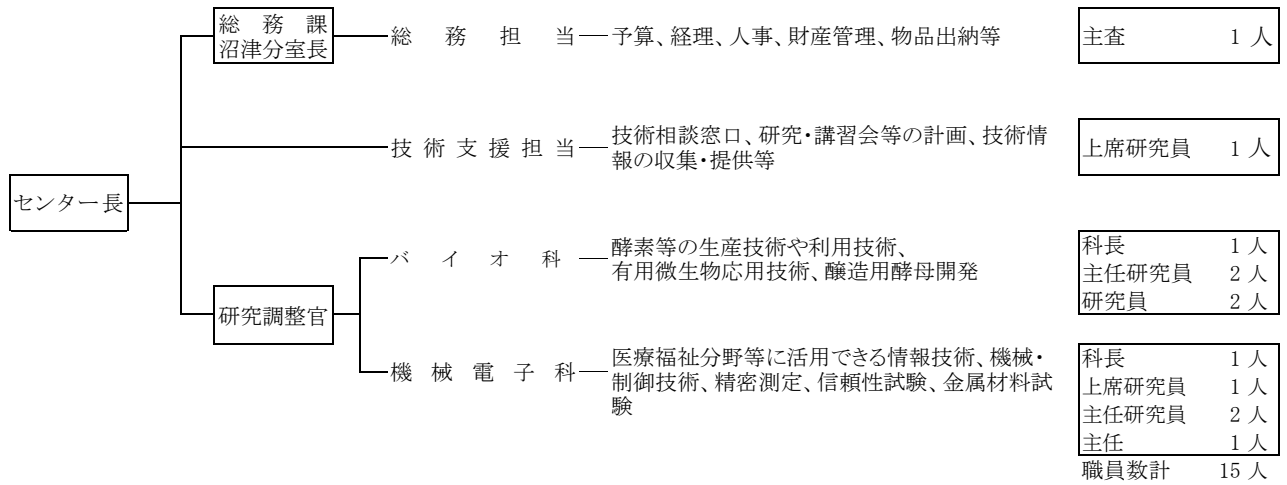


(その他会計年度任用職員等)

職 名	人 数
会計年度任用職員	5 人

イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

職員数は事務職員 2 人、技術職員12人、再任用職員 1 人及び会計年度任用職員 2 人の計17人である。

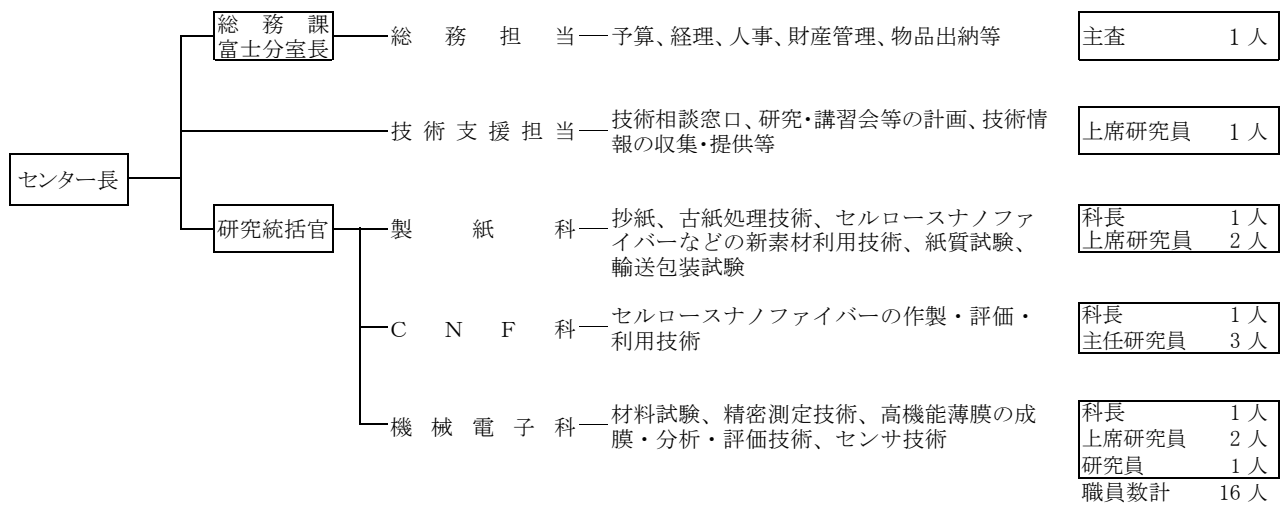


(その他会計年度任用職員等)

職 名	人数
会計年度任用職員	2 人

ウ 富士工業技術支援センター(富士市)

職員数は事務職員 2 人、技術職員14人及び会計年度任用職員 4 人の計20人である。

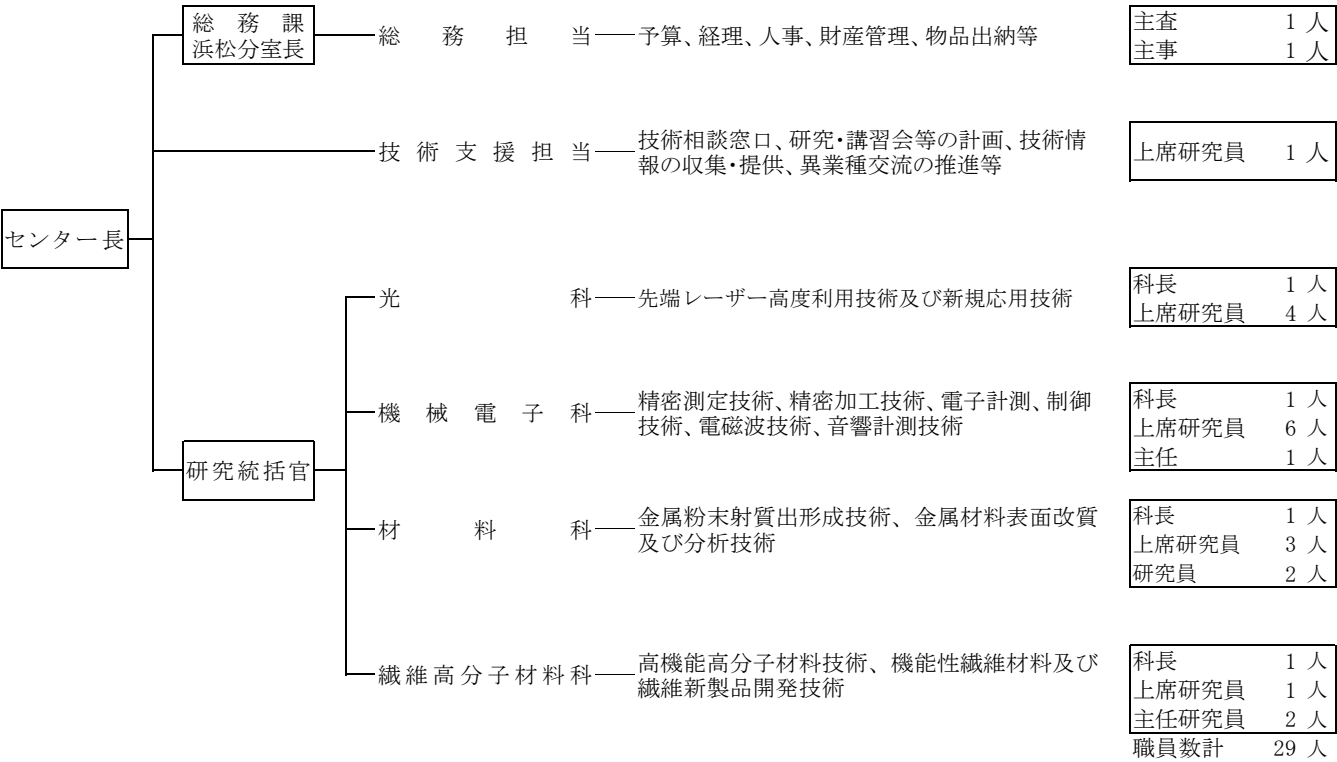


(その他会計年度任用職員等)

職 名	人数
会計年度任用職員	4 人

エ 浜松工業技術支援センター（浜松市）

職員数は事務職員 3 人、技術職員25人、再任用職員 1 人、会計年度任用職員13人の計42人である。



（その他会計年度任用職員等）

職 名	人数
会計年度任用職員	13 人

(5) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの職員

ア 工業技術研究所

部課科スタッフ	事務職員	技術職員	会計年度任用職員	部課科スタッフ	事務職員	技術職員	会計年度任用職員
所長		1		機械電子科		7	
次長兼総務課長	1			照明音響科		4	
企画調整部長		1		食品科		7	
研究統括官		2		環境エネルギー科		5	
総務課	3	1		ユニバーサルデザイン科		5	
企画調整部	2	3	3	工芸科		5	2
金属材料科		5		計	6	51	5
化学材料科		5					

職員名簿

組 織	職 名	氏 名	組 織	職 名	氏 名
所 長		望月 一男	照明音響科	科 長	木野 直樹
総務課	次 長 兼 課 長	鈴木 加江		上席研究員	志智 亘
	班 長(事)	橋本 充夫		上席研究員	豊田 敏裕
	主 査(事)	小杉 郁奈		主任研究員	柳原 亘
	主 任(事)	武田 府美緒	研究統括官		田中 伸佳
企画調整部	主 任(技)	一瀬 将平	食品科	科 長	山下 里恵
	部 長	鈴木 敬明		上席研究員	渡瀬 隆也
	班 長	油上 保		上席研究員	浅沼 俊倫
	上席研究員	増井 裕久		上席研究員	松野 正幸
	主 査(事)	白輪 真也		上席研究員	三宅 健司
	主任研究員	望月 智文		主任研究員	袴田 雅俊
	主 事	笠井 慶子		研究員	石橋 佳奈
	会計年度任用職員	3名	環境エネルギー科	科 長	宮原 鐘一
研究統括官		鬼久保 郁雄		上席研究員	鈴木 光彰
金属材料科	科 長	長谷川 和宏		上席研究員	太田良 和弘
	主 任(技)	杉山 治		上席研究員	岡本 哲志
	主任研究員	鈴木 洋光		上席研究員	室伏 敬太
	主任研究員	田中 宏樹	ユニバーサルデザイン科	科 長	小松 剛
	研究員	望月 玲於		上席研究員	易 強
	科 長	木野 浩成		主 任(技)	多々良 哲也
	上席研究員	菅野 尚子		主 任(技)	深谷 謙一
	主 任(技)	萱沼 広行		研究員	大賀 久美
	主任研究員	稲葉 彩乃	工芸科	科 長	長澤 正
	主任研究員	小泉 雄輔		上席研究員	村松 重緒
機械電子科	科 長	赤堀 篤		上席研究員	渡邊 雅之
	上席研究員	望月 紀寿		主 任(技)	八木 淳一
	上席研究員	望月 建治		主任研究員	菊池 圭祐
	上席研究員	大澤 洋文	会計年度任用職員 2名		
	上席研究員	竹居 翼	(事)は事務職員、(技)及びその他は技術職員 (会計年度任用職員を除く)		
	主任研究員	岩崎 清斗			
	研究員	山口 智之			

イ 沼津工業技術支援センター

課科スタッフ	事務職員	技術職員	会計年度任用職員
センター長		1	
研究調整官		1	
分室長	1		
総務担当	1		1
技術支援担当		1	
バイオ		5	
機械電子		5	1
計	2	13	2

職員名簿

組 織	職 名	氏 名	組 織	職 名	氏 名
センター長		大川 勝正	機械電子科	科 長	本多 正計
研究調整官		三浦 清		上席研究員	船井 孝
総務課分室長 (事)		杉本 和子		主 任(技)	佐藤 廣美
総務担当	主 査(事)	小泉 由美		主任研究員	是永 宗祐
	会計年度任用職員	1 名		主任研究員	松下 五樹
技術支援担当	上席研究員	飯塚 千佳世		会計年度任用職員	1 名
バイオ科	科 長	岩原 健二	(事)は事務職員、その他は技術職員(会計年度任用職員を除く)		
	主任研究員	勝山 聡			
	主任研究員	高木 啓詞			
	研究員	鈴木 雅博			
	研究員	黒瀬 智英子			

ウ 富士工業技術支援センター

課科スタッフ	事務職員	技術職員	会計年度任用職員
センター長		1	
研究統括官		1	
分室長	1		
総務担当	1		1
技術支援担当		1	
製紙		3	3
CNF		4	
機械電子		4	
計	2	14	4

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名
センター長		佐野 禎彦	CNF科	科 長	大竹 正寿
研究統括官		飯野 修		主任研究員	田中 翔悟
総務課分室長 (事)		吉田 光廣		主任研究員	河部 千香
総務担当	主 査(事)	長野 佐和子		主任研究員	前田 研司
	会計年度任用職員	1名	機械電子科	科 長	真野 毅
技術支援担当	上席研究員	本間 信行		上席研究員	高木 誠
製紙科	科 長	杉本 芳邦		上席研究員	齊藤 将人
	上席研究員	深沢 博之		研究員	井出 達樹
	上席研究員	齊藤 和明	(事)は事務職員、その他は技術職員(会計年度任用職員を除く)		
	会計年度任用職員	3名			

エ 浜松工業技術支援センター

課科	事務職員	技術職員	会計年度任用職員
センター長		1	
研究統括官		1	
分室長	1		
総務担当	2		1
技術支援担当		1	2
光		5	
機械電子		8	2
材料		6	4
繊維高分子材料		4	4
合計	3	26	13

職員名簿

組 織	職名		氏 名	組 織	職名		氏 名
センター長			杉山 直人	機械電子科	上席研究員	長津 義之	
研究統括官			松田 稔		上席研究員	上野 貴康	
総務課分室長(事)			石原 秀哲		主 任(技)	長谷川 茂	
総務担当	主 査(事)	内藤 由衣希	材料科		会計年度任用職員 2名		
	主 事	山野井 美央		科 長	伊藤 芳典		
	会計年度任用職員 1名			上席研究員	吉岡 正行		
技術支援担当	上席研究員	及川 貴康		上席研究員	田光 伸也		
	会計年度任用職員 2名			上席研究員	植松 俊明		
光科	科 長	植田 浩安		研究員	長田 貴将		
	上席研究員	鷺坂 芳弘		研究員	小粥 基晴		
	上席研究員	山下 清光	会計年度任用職員 4名				
	上席研究員	太田 幸宏	繊維高分子材料科	科 長	鈴木 一之		
	上席研究員	中野 雅晴		上席研究員	鈴木 重好		
機械電子科	科 長	渥美 博安		主任研究員	森田 達弥		
	上席研究員	増田 康利		主任研究員	長房 秀幸		
	上席研究員	針幸 達也		会計年度任用職員 4名			
	上席研究員	岩澤 秀	(事)は事務職員、その他は技術職員(会計年度任用職員を除く)				
	上席研究員	山田 浩文					

(6) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの決算

ア 工業技術研究所

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	24,480	24,480 (証紙22,559,580)	0	
財 産 収 入	443,300	443,300	0	
諸 収 入	11,494,383	11,494,383	0	
計	11,962,163	11,962,163 (証紙22,559,580)	0	

(イ) 歳出（人件費を除く）

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	8,124,145	8,124,145	0	
経済産業費	343,373,432	343,373,432	0	
計	351,497,577	351,497,577	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	8,124,145 円
○経済産業費	経済産業費	11,460 円
	産業革新費	145,913,824 円
	商工業費	197,448,148 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県 事 業 名	事業費
科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 (独立行政法人 日本学術振興会)	公募競争型資金活用研究事業費	1,194,869
研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム (国立研究開発法人 科学技術振興機構)	公募競争型資金活用研究事業費	130,000
戦略的基盤技術高度化支援事業 (関東経済産業局)	公募競争型資金活用研究事業費 工業技術研究所試験研究費	1,338,445
フーズ・サイエンスセンター補助金 (公益財団法人静岡県産業振興財団)	フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業	19,707,623

イ 沼津工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	不納欠損額	備 考
使用料・手数料	1,742,480	1,742,480 (証紙16,671,680)	0	0	
財 産 収 入	66,000	66,000	0	0	
諸 収 入	4,660,975	4,660,975	0	0	
計	6,469,455	6,469,455 (証紙16,671,680)	0	0	

(イ) 歳出（人件費を除く）

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	432,003	432,003	0	
経済産業費	123,418,242	123,418,242	0	
計	123,850,245	123,850,245	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	432,003 円
○経済産業費	経済産業費	4,360 円
	産業革新費	12,598,987 円
	商工業費	110,814,895 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県 事 業 名	事業費
公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業（（公財）J K A）	機械工業育成機器整備事業費 （機器名：振動試験機）	31,449,000

ウ 富士工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	3,083,280	3,083,280 (証紙 14,691,280)	0	
財 産 収 入	59,999	59,999	0	
諸 収 入	2,097,428	2,097,428	0	
計	5,240,707	5,240,707 (証紙 14,691,280)	0	

(イ) 歳出（人件費を除く）

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	2,921,256	2,921,256	0	
くらし・環境費	814,000	814,000	0	
経済産業費	112,220,421	112,220,421	0	
計	115,955,677	115,955,677	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	2,921,256 円
○くらし・環境費	環境費	814,000 円
○経済産業費	経済産業費	5,920 円
	産業革新費	20,373,193 円
	商工業費	91,841,308 円

エ 浜松工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	3,020,485	3,020,485 (証紙 55,319,710)	0	
財 産 収 入	520,300	520,300	0	
諸 収 入	10,979,518	10,979,518	0	
計	14,520,303	14,520,303 (証紙 55,319,710)	0	

(イ) 歳出（人件費を除く）

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	3,691,725	3,691,725	0	
経済産業費	245,945,533	245,945,533	0	
計	249,637,258	249,637,258	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	3,691,725 円
○経済産業費	経済産業費	41,820 円
	産業革新費	24,964,983 円
	商工業費	220,938,730 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県 事 業 名	事業費
科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 (独立行政法人 日本学術振興会)	公募競争型資金活用研究事業費	2,600,000
公設工業試験研究所等における機械設備拡充 補助事業 (公益財団法人 J K A)	工業技術研究所試験検査機器整備 事業費	12,353,000 (8,235,333)
研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム (国立研究開発法人 科学技術振興機構)	公募競争型資金活用研究事業費 工業技術研究所研究機器等整備事 業費 工業技術研究所試験研究費 (機器名：炭酸ガスレーザーほか)	4,005,559
戦略的基盤技術高度化支援事業 (関東経済産業局)	工業技術研究所試験研究費	203,174

()内の数字は、事業費のうちの補助額。

(7) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの主要購入機器設備（金額1,000千円以上）

品名	所属	購入金額 (千円)	事業名	区分
振動試験機	沼津	31,449,000	工業技術研究所試験検査機器整備事業費 (公益財団法人JKA)	団体補助
フーリエ変換赤外分光分析装置	浜松	12,353,000		
炭酸ガスレーザー	浜松	1,386,000		
車載用次世代照明用光学部品形状評価試験機	本所	82,390,000	EV・自動運転化等技術革新対応促進事業	県単独
遊星式混練機	富士	14,300,000	ふじのくにCNFプロジェクト推進事業費	
位相差顕微鏡	富士	1,359,600		
複合材料観察評価システム	浜松	17,740,800	新成長戦略研究推進事業	
カールフィッシャー水分計	本所	1,507,000		
化学発光スキャナ	本所	1,399,662		
樹脂粉碎機	本所	1,254,000		
全自動蛍光X線分析装置	浜松	27,720,000	工業技術研究所試験検査機器整備事業費	
微小部蛍光X線分析装置	本所	25,300,000		
ICP発光分光分析装置	本所	19,470,000		
箱型圧縮試験機制御装置	本所	6,908,000		

2 事業実績

(1) 試験研究、調査及び指導事務

ア 研究開発

(ア) 研究課題

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの研究課題数

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金 による 研究	競争的 資金 以外の 研究	
工業技術研究所	5 (3) ※1 ※2 ※3	6 (3) ※4	7 (1) ※2	17	5	40 (7)
沼津工業技術 支援センター	5 (1) ※2	0	1	3	4	13 (1)
富士工業技術 支援センター	1	3	4	0	0	8
浜松工業技術 支援センター	1	4 (1) ※4	1	3	10	19 (1)
合計	12 (4)	13 (4)	13 (1)	23	19	80 (9)

()内は内数

※1 富士工業技術支援センターが統括して、静岡においても実施

※2 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

※3 畜産技術研究所が統括して、静岡においても実施

※4 県単独研究の4課題について、個人向け資金（科研費）を活用

(a) 工業技術研究所の研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
金属材料科	0	0	1	2	0	3
化学材料科	1 (1) ※1	0	2 (1) ※1	0	0	3 (2)
機械電子科	1	1 (1) ※4	1	0	0	3 (1)
照明音響科	1	0	0	2	0	3
食品科	1 (1) ※2	2 (1) ※4	1	10	0	14 (2)
環境エネルギー科	1 (1) ※3	0	1	2	1	5 (1)
ユニバーサルデザイン科	0	1 (1) ※4	1	0	1	3 (1)
工芸科	0	2	0	1	3	6
合計	5 (3)	6 (3)	7 (1)	17	5	40 (7)

()内は内数

※1 富士工業技術支援センターが統括して、静岡においても実施

※2 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

※3 畜産技術研究所が統括して、静岡においても実施

※4 県単独研究の3課題について、個人向け資金（科研費）を活用

(b) 沼津工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
バイオ科	3 (1) ※1	0	0	2	3	8 (1)
機械電子科	2	0	1	1	1	5
合計	5 (1)	0	1	3	4	13 (1)

()内は内数

※1 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

(c) 富士工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
製紙科	0	2	0	0	0	2
CNF科	1	0	3	0	0	4
機械電子科	0	1	1	0	0	2
合計	1	3	4	0	0	8

(d) 浜松工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
光科	0	1 (1) ※1	1	1	1	4 (1)
機械電子科	0	2	0	0	1	3
材料科	0	1	0	2	5	8
繊維高分子材料科	1	0	0	0	3	4
合計	1	4 (1)	1	3	10	19 (1)

()内は内数

※1 県単独研究の1課題について、個人向け資金(科研費)を活用

b 令和2年度研究課題名一覧

(a) 工業技術研究所研究課題名一覧

新・継続 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 H30～	車載光学機器産業を支援する設計・評価・生産支援技術の開発	照明音響科	
継続 H30～	生産基盤拡大に繋がる家畜ふん尿の乾燥及びエネルギー転換技術の開発	環境エネルギー科	
継続 R1～	次世代自動車軽量化のためのC N F複合材の開発	化学材料科	
継続 R1～	I o T導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築	機械電子科	
新規	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	食品科	
県単独研究			
継続 H30～	作業負担を軽減する新たなアシスト機構の開発	ユニバーサルデザイン科	科学研究費助成事業（学振）
継続 R1～	農業実践例の大規模類似ネットワークに基づくナレッジベースの構築	機械電子科	科学研究費助成事業（学振）
継続 R1～	家具の品質向上に向けた要素技術の開発	工芸科	
継続 R1～	積層板の音響特性における接着剤の影響	工芸科	
新規	セルロースナノファイバーによる機能性成分の徐放化と挙動解明	食品科	科学研究費助成事業（学振）
新規	スキンケア素材の探索と機能性向上を目指した乳酸菌発酵	食品科	地方創生推進交付金（内閣府）
一般共同研究			
継続 R1～	E Vシフトに要求される欠陥レスで高密着な樹脂めっきの作製	金属材料科	
継続 R1～	射出成形における部材金属と樹脂の表面特性向上に関する研究	化学材料科	
継続 R1～	樹脂中に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	化学材料科	
継続 R1～	医療機関と連携した人間中心設計による医療機器の開発	ユニバーサルデザイン科	
新規	静岡県地域企業等へのIoT導入強化に関する研究	機械電子科	つながる工場テストベッド事業（産総研）
新規	小児・嚥下困難者のための錠剤粉剤・散剤混合技術の開発	食品科	医療機器産業基盤強化推進事業（財団）
新規	駿河湾由来カロテノイド生産微生物ライブラリーの構築とサプリメント開発への応用	環境エネルギー科	マリンバイオテクノロジーを核としたシーズ創出研究業務委託（県産業イノベーション課）

新・継続 開始年	課題名	担当部門署	備考
受託研究（競争的資金による研究）			
継続 H30～	次世代コミュニケーションランプの微細高精度化に対応する金型加工技術の確立	照明音響科	戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）
継続 R1～	エアコン用圧縮機の省エネと小型化を両立する高強度軽量スクロール翼のニアネット鑄造技術の開発	金属材料科	戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）
継続 R1～	小型・低コストバイオマスガス化発電システム・実証機の開発	環境エネルギー科	新成長産業戦略的育成事業助成事業（財団）
新規	複数場の同時制御プロセスによるリサイクル可能な超軽量マルチ部材の開発	金属材料科	先端企業育成プロジェクト推進事業（県新産課）
新規	フレキシブル面光源の性能評価のための光学特性測定に関する国際標準化	照明音響科	国際標準化事業（経産省）
新規	マグロ未利用部位プロテオグリカン抽出技術の検討	食品科	MaOI事業化促進事業（産業イノベーション課）
新規	セルロースナノファイバーを活用した皮膚塗布用の茶カテキンクリームの開発	食品科	CNF活用試作品開発事業（県新産課）
新規	セルロースナノファイバーを活用したアロマ・基礎化粧品の開発	食品科	新成長産業戦略的育成事業・事業化推進助成事業（財団）
新規	微細化緑茶分散液の物性評価	食品科	新成長産業戦略的育成事業・事業化推進助成事業（財団）
新規	自転公転式攪拌装置による錠剤粉碎および散剤混合の評価	食品科	医療機器産業基盤強化推進事業（財団）
新規	自宅用焙煎温度別ティーシロップの開発及び物性等の評価	食品科	食品等開発助成事業（財団）
新規	食品用CNF（セルロースナノファイバー）の物性改良効果に関する研究	食品科	食品等開発助成事業（財団）
新規	新マイクロ波抽出技術による魚節フレーバー濃縮エキスの開発	食品科	地域課題に係る産学共同研究委託事業（B-nest）
新規	オリジナル乳酸菌を使用した「静岡チーズ」の開発	食品科	地域課題に係る産学共同研究委託事業（B-nest）
新規	山椒を用いた加工品の試作開発	食品科	連携組織等経営基盤強化支援事業（静岡県中小企業団体中央会）
新規	地産地消型エネルギー循環システム構築を目指した脂質高含有廃棄物からの長期安定的エネルギー回収法の開発	環境エネルギー科	A-STEPトライアウト（JST）
新規	木質原料の前処理による流動成形性の改善と品質安定化	工芸科	先端企業育成プロジェクト推進事業（県新産課）

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	回分式メタン発酵試験によるメタン発酵消化汚泥の特性評価	環境エネルギー科	
新規	介護動作指導支援システムの改良提案及びユーザビリティ評価	ユニバーサルデザイン科	
新規	脱灰処理を利用した活性炭製造のスケールアップ効果の検証	工芸科	
新規	不燃パーティクルボードの開発	工芸科	
新規	C N F を利用した文化財用特殊膠の開発	工芸科	

注）学振：（独）日本学術振興会、産総研：（国研）産業技術総合研究所、経産省：経済産業省、財団：（公財）静岡県産業振興財団、B-nest：静岡市産学交流センター、JST：（国研）科学技術振興機構、県新産課：静岡県新産業集積課、県産業イノベ課：静岡県産業イノベーション推進課

(b) 沼津工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継続 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 H30～	次世代型インプラントの型鍛造成形を可能にする設計支援技術の開発	機械電子科	
新規	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	バイオ科	
新規	麹菌の脂質代謝を利用した清酒への新規香気成分付与の検討	バイオ科	チャレンジ研究枠
新規	微生物の機能向上を目指した遺伝子デザイン手法の構築	バイオ科	チャレンジ研究枠
新規	データ圧縮アルゴリズムを活用した画像認識AIにおける効率的学習手法の開発	機械電子科	チャレンジ研究枠
一般共同研究			
新規	クロム、コバルトを含まず、耐食性に優れる電気亜鉛めっき法の開発	機械電子科	産学官連携研究開発助成事業(財団)
受託研究(競争的資金による研究)			
新規	人工設計情報からの有用タンパク質作製検討	バイオ科	産学官連携研究開発助成事業(財団)
新規	発酵産業への応用を志向した静岡由来微生物資源からの新規抗菌物質の探索	バイオ科	一般発展型研究助成事業(東海産業技術振興財団)
新規	温間プレス加工後の材料評価と塑性加工シミュレーションによる原材料形状の検討	機械電子科	新成長産業戦略的育成事業・事業化推進助成事業(財団)
受託研究(競争的資金以外の研究)			
新規	※委託先要望により公表を控えます。	バイオ科	
新規	※委託先要望により公表を控えます。	バイオ科	
新規	※委託先要望により公表を控えます。	バイオ科	
新規	※委託先要望により公表を控えます。	機械電子科	

注) 財団: (公財)静岡県産業振興財団

(c) 富士工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継続 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R1～	次世代自動車軽量化のためのC N F複合材の開発	C N F 科	
県単独研究			
継続 R1～	再生紙の低密度化に関する研究	製紙科	
新規	ほぐれやすさ試験機の技術開発	製紙科	
新規	プラズマ照射による樹脂表界面の新規改質技術の開発	機械電子科	
一般共同研究			
継続 R1～	樹脂中に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	C N F 科	
継続 R1～	C N F 製造に関する解繊エネルギーの低減	C N F 科	
継続 R1～	古紙等のパルプ繊維を複合化したハイブリッド樹脂におけるC N F 分散制御技術の確立	C N F 科	
継続 R1～	計測・センシング技術の動物繁殖現場への応用展開	機械電子科	

(d) 浜松工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継続 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
新規	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料(CFRP)の高効率成形技術の確立	繊維高分子材料科	
県単独研究			
継続 H30～	分光特性を利用したものづくりの品質検査に関する研究	光科	科学研究費助成事業(学振)
継続 R1～	材料評価・解析のスキルアップに向けたサンプリングメソッドの開発	材料科	
新規	3D熱変形計測技術を応用した次世代自動車用部品の開発プロセスの効率化	機械電子	
新規	車載機器EMC試験における測定値のサイト間比較による測定信頼性の向上	機械電子	
一般共同研究			
新規	ダイヤモンド焼結体(PCD)工具のレーザー加工技術の開発	光科	
受託研究(競争的資金による研究)			
継続 H30～	めっき技術による撥液性皮膜作製技術の開発	材料科	A-STEP(JST)
継続 R1～	マイクロテクスチャエンドミルの主軸反転傾斜切削による超微粒パウダー製造技術の開発	材料科	戦略的基盤技術高度化支援事業(経産省)
新規	眼鏡レンズのレーザー染色におけるスマート加熱	光科	A-STEP(JST)
受託研究(競争的資金以外の研究)			
新規	自動車フォグランプのレーザー溶着	光科	
新規	アルミニウム合金鋳造材の摩擦攪拌プロセスに関する研究開発	機械電子科	
新規	X線残留応力測定装置を用いた硬さ測定に及ぼす鋼種及び表面状態の影響	材料科	
新規	圧縮成形によるコイル形状変化の検討	材料科	
新規	各種コーティング膜の機能・性能向上のための評価解析	材料科	
新規	レーザー除染技術の実用化に向けた研究開発	材料科	

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新規	製造工程で使用する各種樹脂材料の条件の最適化に関する研究	材料科	
新規	F R P成形用UDテープ製造装置搬送ベルトの劣化評価	繊維高分子材料科	
新規	高比重成形材を用いた成形品の品質評価	繊維高分子材料科	
新規	生分解性プラスチックの紡糸に関する研究	繊維高分子材料科	

注) 学振：(独) 日本学術振興会、経産省：経済産業省、JST：(国研) 科学技術振興機構

(イ) 外部研究員招へい事業

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

	人数	指導時間
工業技術研究所	1 5	7 7
沼津工業技術支援センター	3	2 1
富士工業技術支援センター	4	3 0
浜松工業技術支援センター	6	5 4
合計	2 8	1 8 2

b 外部研究員一覧

(a) 工業技術研究所外部研究員

所属	専門	指導を受ける内容	指導時間
京都大学	化学工学	効率的なフェントン反応の発生法に関する指導	4
関東学院大学	材料工学	高密度な樹脂めっき作製方法に関する指導	8
(株) 不二越	金属材料	射出成形機金属部材の磨耗・腐食メカニズム	8
常葉大学	食品栄養学	栄養と食品機能の科学	4
静岡県立大学	応用糖質科学、食品物性	調理加工の科学	4
静岡県立大学	食品科工学、食品工学	乳製品の加工による物性変化について	4
静岡大学	メタン発酵農学	地域自立システム型植物バイオマス利用の構築について	4
静岡大学	地球微生物学	温泉メタンガス発電システムと地下温水に含まれる微生物群集を利用したメタン及び水素ガス生成リアクターの開発について	4
静岡文化芸術大学	人間工学、生理人類学	人間工学評価実験の測定手法に関する指導	8
東京大学大学院	木質材料炭化	木質材料を原料とした高付加価値製品の開発	4
(株) イセンシャル	電子回路	電子回路シミュレーション技術	8
はまなこ環境ネットワーク	経済、材料技術	地域産業活性化のための支援施策について	2
I N P I T 静岡県知財総合支援窓口	知的財産	先行技術調査の手法と留意点について	4

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導 時間
(地独) 大阪産業技術 研究所	高分子材料、有機光化学	高密着な樹脂めっき作製方法に関する指導	8
(一社) 静岡県発明協会	知的財産	研究者が知っておくべき特許の要点	3
合 計 15 人		合 計 77 時間	

(b) 沼津工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導 時間
理化学研究所	バイオエンジニアリング	生体力学シミュレーションに関する指導	10
東京農業大学	醸造学	酒類製造技術及び関連試験手法について	7
東京農業大学	醸造学	麹菌関連研究手法について	4
合 計 3 人		合 計 21 時間	

(c) 富士工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導 時間
(一社) 静岡県紙パル プ技術協会	製紙工学	再生紙の低密度化のための製紙技術、トイレ紙のほぐれやすさ試験機開発に必要な技術について	12
東京農工大学大学院	紙パルプ科学、セルロース科学、ナノ材料学	再生紙の低密度化のための製紙技術、トイレ紙のほぐれやすさ試験機開発に関する研究内容について	4
沼津工業高等専門学校	振動工学、情報処理技術	深層学習 (CNN、RNN) の基礎等について	7
愛知工科大学	情報処理技術	深層学習を用いた動物の行動推定等について	7
合 計 4 人		合 計 30 時間	

(d) 浜松工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導 時間
大阪大学レーザー科学 研究所	レーザー工学	レーザー染色におけるレンズ表面の 温度制御方法について	8
今田技術士事務所	着色材料	レーザー染色の凝集ムラの原因と低 減対策について	8
EMCDOC	EMC 関連	車載機器の E M C 測定技術	8
静岡理工科大学	高分子化学	フッ素系ポリマーの合成方法と撥水 層の形成方法について	6
スギテクノ	電気電子情報通信	材料評価・解析における A I ・ I o T の活用について	1 2
福島テック	高分子材料、複合材料	熱可塑性樹脂を母材とした繊維強化 複合材の成形加工に関する研究	1 2
合計 6 人		合計 5 4 時間	

(ウ) 特許等の登録及び出願

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計（令和３年３月31日現在）

	出願中件数	登録件数
工業技術研究所	1 1	2 2 ¹⁾
沼津工業技術支援センター	0	2 ²⁾
富士工業技術支援センター	2	4
浜松工業技術支援センター	6 ³⁾	1 4 ⁴⁾
合計	1 7	4 2

1) 意匠 2 件（国内 1 件、海外 1 件）を含む。

2) 著作権 1 件を含む。

3) 外国特許出願 4 件を含む。

4) 外国特許登録 6 件を含む。

b a のうち特許等出願、登録及び消滅件数

	出願件数	登録件数	消滅件数
工業技術研究所	4	2	1
沼津工業技術支援センター	0	1	0
富士工業技術支援センター	0	0	1
浜松工業技術支援センター	4	2	2
合計	8	5	4

イ 技術相談等

(ア) 技術相談

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの相談件数合計

	工業技術 研 究 所	沼津工業技術 支 援 セ ン タ ー	富士工業技術 支 援 セ ン タ ー	浜松工業技術 支 援 セ ン タ ー	合 計
技術相談	13,427	2,695	4,601	10,602	31,325
実地指導	774	100	131	152	1,157
合 計	14,201	2,795	4,732	10,754	32,482

(a) 工業技術研究所の相談件数

所 属	金属材料科	化学材料科	機械電子科	照明音響科
技術相談	1,271	2,043	1,304	1,404
実地指導	6	73	56	14
合 計	1,277	2,116	1,360	1,418
所 属	食品科	環境エネルギー科	ユニバーサルデザイン科	工芸科
技術相談	1,872	1,426	1,885	1,948
実地指導	172	213	131	63
合 計	2,044	1,639	2,016	2,011
所 属	その他	合計		
技術相談	274	13,427		
実地指導	46	774		
合 計	320	14,201		

(b) 沼津工業技術支援センター相談件数

所 属	バイオ科	機械電子科	その他	合計
技術相談	325	2,331	39	2,695
実地指導	32	42	26	100
合 計	357	2,373	65	2,795

(c) 富士工業技術支援センター相談件数

所 属	製紙科	CNF科	機械電子科	その他
技術相談	1,918	840	1,783	60
実地指導	40	48	31	12
合 計	1,958	888	1,814	72
所 属	合計			
技術相談	4,601			
実地指導	131			
合 計	4,732			

(d) 浜松工業技術支援センター相談件数

所 属	光科	機械電子科	材料科	繊維高分子材料科
技術相談	748	2,752	4,961	1,993
実地指導	13	27	61	22
合 計	761	2,779	5,022	2,015
所 属	その他	合計		
技術相談	148	10,602		
実地指導	29	152		
合 計	177	10,754		

(イ) 依頼試験

a 依頼試験内訳（工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計）

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	2, 278 (462)	12, 796, 920 (3, 284, 850)
	定量分析	431 (142)	4, 224, 220 (2, 257, 900)
2 工業用材料	材料強度試験	2, 685 (58)	4, 999, 990 (134, 020)
	長期性能試験	42, 626 (17, 086)	11, 054, 840 (4, 707, 430)
	特殊試験	798 (114)	6, 722, 440 (1, 759, 610)
3 木材工業	木材試験	68 (12)	334, 750 (87, 000)
	塗料試験	20 (20)	31, 000 (31, 000)
	製品試験	429 (218)	1, 692, 820 (727, 970)
4 化学工業	金属表面処理試験	154 (60)	870, 120 (388, 500)
	プラスチック及びゴム試験	0 (0)	0 (0)
	微生物試験	13 (0)	61, 360 (0)
	セラミックス試験	0 (0)	0 (0)
	熱勘定試験	0 (0)	0 (0)
5 機械金属工業	精密測定	92 (24)	201, 740 (27, 360)
	機械器具の検査及び試験	936 (936)	5, 213, 520 (5, 213, 520)
	金属試験	245 (72)	1, 383, 210 (444, 000)
	電気試験	15 (0)	48, 150 (0)
6 包装材料	包装材料試験	49 (0)	65, 170 (0)

7 繊維工業	繊維材料試験	1 (0)	3,570 (0)
	編織試験	56 (0)	150,640 (0)
	染色試験	0 (0)	0 (0)
	整理仕上加工試験	0 (0)	0 (0)
8 製紙工業	原材料試験	25 (0)	445,440 (0)
	紙質試験	428 (0)	1,479,300 (0)
	製紙及び紙加工試験	13 (0)	125,580 (0)
9 加工	塗装加工	0 (0)	0 (0)
	木竹材加工	2 (0)	6,460 (0)
10 設計及び調整	機械等の設計及び調整	296 (75)	1,137,780 (458,800)
	繊維デザイン	0 (0)	0 (0)
	商業及び工業デザイン	202 (195)	569,100 (549,230)
11 写真及び複写		123 (52)	50,900 (28,370)
12 成績書の複本		23 (0)	13,230 (0)
合 計		52,008 (19,526)	53,682,250 (20,099,560)

※ () の数字は実績総額に含まれる減免の件数及び金額

(a) 工業技術研究所の依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	273 (58)	3,103,460 (446,120)
	定量分析	170 (8)	605,760 (39,760)
2 工業用材料	材料強度試験	2,349 (18)	4,279,270 (94,740)
	長期性能試験	12,038 (6,482)	4,024,380 (2,243,540)
	特殊試験	488 (6)	3,302,400 (35,580)
3 木材工業	木材試験	68 (12)	334,750 (87,000)
	塗料試験	20 (20)	31,000 (31,000)
	製品試験	429 (218)	1,692,820 (727,970)
4 化学工業	金属表面処理試験	32 (14)	233,280 (102,060)
	プラスチック及びゴム試験	()	()
	微生物試験	()	()
	セラミックス試験	()	()
	熱勘定試験	()	()
5 機械金属工業	精密測定	51 (24)	58,140 (27,360)
	機械器具の検査及び試験	()	()
	金属試験	82 (24)	515,760 (161,280)
	電気試験	()	()
6 包装材料	包装材料試験	()	()

7 繊維工業	繊維材料試験	()	()
	編織試験	()	()
	染色試験	()	()
	整理仕上加工試験	()	()
8 製紙工業	原材料試験	()	()
	紙質試験	()	()
	製紙及び紙加工試験	()	()
9 加工	塗装加工	()	()
	木竹材加工	2 (0)	6,460 (0)
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	()	()
	繊維デザイン	()	()
	商業及び工業デザイン	202 (195)	569,100 (549,230)
11 写真及び複写		15 (0)	450 (0)
12 成績書の複本		5 (0)	2,450 (0)
合 計		16,224 (7,079)	18,759,480 (4,545,640)

※ () の数字は実績総額に含まれる減免の件数及び金額

(b) 沼津工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	2 (0)	11,140 (0)
	定量分析	2 (0)	3,220 (0)
2 工業用材料	材料強度試験	10 (0)	27,300 (0)
	長期性能試験	5,855 (1,623)	1,435,690 (395,980)
	特殊試験	26 (2)	176,620 (56,000)
3 木材工業	木材試験	()	()
	塗料試験	()	()
	製品試験	()	()
4 化学工業	金属表面処理試験	()	()
	プラスチック及びゴム試験	()	()
	微生物試験	13 (0)	61,360 (0)
	セラミックス試験	()	()
	熱勘定試験	()	()
5 機械金属工業	精密測定	41 (0)	143,600 (0)
	機械器具の検査及び試験	936 (936)	5,213,520 (5,213,520)
	金属試験	8 (8)	36,120 (36,120)
	電気試験	15 (0)	48,150 (0)
6 包装材料	包装材料試験	()	()

7 繊維工業	繊維材料試験	()	()
	編織試験	()	()
	染色試験	()	()
	整理仕上加工試験	()	()
8 製紙工業	原材料試験	()	()
	紙質試験	()	()
	製紙及び紙加工試験	()	()
9 加工	塗装加工	()	()
	木竹材加工	()	()
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	1 (0)	5,490 (0)
	繊維デザイン	()	()
	商業及び工業デザイン	()	()
11 写真及び複写		8 (0)	240 (0)
12 成績書の複本		()	()
合 計		6,917 (2,569)	7,162,450 (5,701,620)

※ () の数字は実績総額に含まれる減免の件数及び金額

(c) 富士工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	()	()
	定量分析	()	()
2 工業用材料	材料強度試験	34 (0)	51,430 (0)
	長期性能試験	5,090 (855)	1,145,570 (211,660)
	特殊試験	()	()
3 木材工業	木材試験	()	()
	塗料試験	()	()
	製品試験	()	()
4 化学工業	金属表面処理試験	()	()
	プラスチック及びゴム試験	()	()
	微生物試験	()	()
	セラミックス試験	()	()
	熱勘定試験	()	()
5 機械金属工業	精密測定	()	()
	機械器具の検査及び試験	()	()
	金属試験	()	()
	電気試験	()	()
6 包装材料	包装材料試験	49 (0)	65,170 (0)

7 繊維工業	繊維材料試験	()	()
	編織試験	()	()
	染色試験	()	()
	整理仕上加工試験	()	()
8 製紙工業	原材料試験	25 (0)	445, 440 (0)
	紙質試験	428 (0)	1, 479, 300 (0)
	製紙及び紙加工試験	13 (0)	125, 580 (0)
9 加工	塗装加工	()	()
	木竹材加工	()	()
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	()	()
	繊維デザイン	()	()
	商業及び工業デザイン	()	()
11 写真及び複写		4 (0)	120 (0)
12 成績書の複本		18 (0)	10, 780 (0)
合 計		5, 661 (855)	3, 323, 390 (211, 660)

※ () の数字は実績総額に含まれる減免の件数及び金額

(d) 浜松工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	2,003 (404)	9,682,320 (2,838,730)
	定量分析	259 (134)	3,615,240 (2,218,140)
2 工業用材料	材料強度試験	292 (40)	641,990 (39,280)
	長期性能試験	19,643 (8,126)	4,449,200 (1,856,250)
	特殊試験	284 (106)	3,243,420 (1,668,030)
3 木材工業	木材試験	()	()
	塗料試験	()	()
	製品試験	()	()
4 化学工業	金属表面処理試験	122 (46)	636,840 (286,440)
	プラスチック及びゴム試験	()	()
	微生物試験	()	()
	セラミック試験	()	()
	熱勘定試験	()	()
5 機械金属工業	精密測定	()	()
	機械器具の検査及び試験	()	()
	金属試験	155 (40)	831,330 (246,600)
	電気試験	()	()
6 包装材料	包装材料試験	()	()

7 繊維工業	繊維材料試験	1 (0)	3,570 (0)
	編織試験	56 (0)	150,640 (0)
	染色試験	()	()
	整理仕上加工試験	()	()
8 製紙工業	原材料試験	()	()
	紙質試験	()	()
	製紙及び紙加工試験	()	()
9 加工	塗装加工	()	()
	木竹材加工	()	()
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	295 (75)	1,132,290 (458,800)
	繊維デザイン	()	()
	商業及び工業デザイン	()	()
11 写真及び複写		96 (52)	50,090 (28,370)
12 成績書の複本		()	()
合 計		23,206 (9,023)	24,436,930 (9,640,640)

※ () の数字は実績総額に含まれる減免の件数及び金額

(ウ) 機器使用等

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの機器使用等の実績合計

		時間数	金額(円)
機器使用		60,223 (15,476)	74,589,560 (17,207,830)
研修 施設等 使用	研修施設	138 (61)	187,300 (89,900)
	無響室	202 (26)	862,500 (97,500)
	電波暗室	638 (123)	4,788,550 (854,850)
	車載機器用EMS電波暗室	185 (77)	1,166,400 (415,800)
	車載機器用EMI電波暗室	527 (66)	2,767,400 (333,300)
	B C I 試験室 (シールドルーム)	155 (24)	604,500 (93,600)
	車載機器試験用シールドルーム	217 (113)	865,800 (440,700)
合 計		62,285 (15,966)	85,832,010 (19,533,480)

※ () の数字は実績に含まれている減免の時間数及び金額

(a) 工業技術研究所の機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		12,652 (5,011)	12,277,020 (4,133,780)
研修 施設等 使用	研修施設	13 (13)	14,300 (14,300)
	無響室	54 (0)	202,500 (0)
	電波暗室 ¹⁾	—	—
合 計		12,719 (5,024)	12,493,820 (4,148,080)

1) 電波暗室の施設はない

2) () の数字は実績総額に含まれる減免の時間数及び金額

(b) 沼津工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		8,393 (2,212)	9,499,630 (3,182,560)
研修 施設等 使用	研修施設	8 (8)	9,600 (9,600)
	無響室 ¹⁾	—	—
	電波暗室 ²⁾	—	—
合 計		8,401 (2,220)	9,509,230 (3,192,160)

1) 無響室の施設はない

2) 電波暗室の施設はない

3) () の数字は実績総額に含まれる減免の時間数及び金額

(c) 富士工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		7,574 (720)	11,238,690 (189,590)
研修 施設等 使用	研修施設	88 (40)	129,200 (66,000)
	無響室 ¹⁾	—	—
	電波暗室 ²⁾	—	—
合 計		7,662 (760)	11,367,890 (255,590)

1) 無響室の施設はない

2) 電波暗室の施設はない

3) () の数字は実績総額に含まれる減免の時間数及び金額

(d) 浜松工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		31,604 (7,533)	41,574,220 (9,701,900)
研修 施設等 使用	研修施設	29 (0)	34,200 (0)
	無響室	148 (26)	660,000 (97,500)
	電波暗室	638 (123)	4,788,550 (854,850)
	車載機器用EMS電波暗室	185 (77)	1,166,400 (415,800)
	車載機器用EMI電波暗室	527 (66)	2,767,400 (333,300)
	B C I 試験室 (シールドルーム)	155 (24)	604,500 (93,600)
	車載機器試験用シールドルーム	217 (113)	865,800 (440,700)
合 計		33,503 (7,962)	52,461,070 (11,937,650)

※ () の数字は実績総額に含まれる減免の時間数及び金額

(エ) 研究会の育成

a 工業技術研究所

研 究 会 名	発 足 年 月	会 員 数
静岡県プレス技術研究会	昭和44年 6月	36社
静岡県食品技術研究会	昭和47年12月	116社・個人・団体
静岡県資源環境技術研究会	昭和44年11月	77社・人
静岡県プラスチック技術研究会	平成 2年 6月	36社
静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	平成 7年 5月	39社

b 沼津工業技術支援センター

研 究 会 名	発 足 年 月	会 員 数
静岡県東部精密技術研究会	平成 2年 6月	36社・団体
静岡県バイオテクノロジー研究会	昭和59年 9月	28社

c 富士工業技術支援センター

研 究 会 名	発 足 年 月	会 員 数
静岡県紙パ技術研究フォーラム	昭和62年 9月	10社

d 浜松工業技術支援センター

研 究 会 名	発 足 年 月	会 員 数
浜松機械技術研究会	昭和39年12月	60社
表面技術研究会	昭和60年 8月	38社
浜松繊維加工技術研究会	平成 7年 7月	13社
浜松品質工学会	平成 9年 3月	25人
浜松EMC研究会	平成20年 6月	21社
浜松地域CFRP事業化研究会	平成21年 4月	49社
はままつ超ハイテン研究会	平成28年 6月	14社

(オ) 研修生の受入れ

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

単位：人

	一般研修	就業体験研修	連携大学院
工業技術研究所	4	0	0
沼津工業技術支援センター	0	0	0
富士工業技術支援センター	0	0	0
浜松工業技術支援センター	0	0	0
合計	4	0	0

(a) 工業技術研究所の研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	海洋性乳酸菌を用いた食品開発	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	県内大学 1人
工芸科	ナノファイバーの3次元構造を維持した乾燥方法 ナノファイバーの精密炭素化	令和2年8月24日～ 令和3年3月31日	県内大学 2人
食品科	海洋性乳酸菌を用いた食品開発	令和2年12月1日～ 令和3年3月31日	県内大学 1人
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

ウ 技術情報提供

(ア) 研究報告関係

研究成果事例集	展示会での閲覧及び協議会等で配布 ホームページに掲載
工業技術研究所研究報告	1,100部

(イ) 研究発表会関係

研 究 発 表 会	工業技術研究所	開催年月日	R2. 8. 21	R3. 3. 9-10
		参加者数	287人	165人
		要旨集	Webで公開	Webで公開
	沼津工業技術 支援センター	開催年月日	工技研と合同開催	
		参加者数	—	
		要旨集	—	
	富士工業技術 支援センター	開催年月日	R2. 10. 28	R3. 3. 11
		参加者数	62人	69人
		要旨集	62部	Webで限定公開
	浜松工業技術 支援センター	開催年月日	R3. 3. 8	
		参加者数	99人	
		要旨集	Webで公開	

※工業技術研究所及び富士工業技術支援センターについては、新型コロナウイルスの影響により延期していた、令和元年度の研究発表会を令和2年に開催した。

(a) 令和元年度静岡県工業技術研究所研究発表会の実績（令和2年8月21日）

テーマ名	発表者
車載光学機器産業を支援する設計・評価・生産支援技術の開発	豊田敏裕
表面の光学特性に影響する粗さパラメータの解明	柳原 亘
ヘッドアップディスプレイにおける凹面鏡の形状が光学性能に与える影響の評価	志智 亘
屋外の光環境下でのヘッドアップディスプレイの照明シミュレーション	豊田敏裕
次世代自動車の軽量化に貢献する3D熱変形等計測・評価技術の開発	針幸達也
環境に優しい樹脂めっきプロセスの開発	綿野哲寛
熔融樹脂と金属部材表面の剥離性評価	小泉雄輔
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発 ープラズマ照射効果の分析ー	高木 誠
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発 ー接着性向上についてー	稲葉彩乃
静岡県IoT推進ラボの開設	赤堀 篤

テーマ名	発表者
ポータブルIoT導入パックの開発	望月建治
プレス加工現場のIoT導入支援の実例 ー生産出来高のリアルタイム監視と生産計画の最適化への取り組みー	岩崎清斗
鍍金加工工場のIoT導入支援の実例 ー稼働状況の見える化とLPWA通信による管理工数の削減ー	山口智之
携帯情報端末を活用した酸素ボンベ残量モニタの開発 ー深層学習を用いた医療用酸素流量調整器の自動読み取りについてー	竹居 翼
鍛造シミュレーションの高精度化に向けた取り組み ー生体適合性材料（チタン合金）の材料特性データの活用ー	是永宗祐
鍛造シミュレーションの高度化 ー進化的計算手法と機械学習の活用ー	松下五樹
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 ー研究の背景と概要ー	大竹正寿
マイクロX線CTによるCNF複合材のCNF分散性評価	田中翔悟
赤外分光イメージングを用いたPP/CNF複合材中のCNF分散性の評価 ー試料間の数値的な比較ー	菅野尚子
マスターバッチを使用したPP/CNF複合材の混練・成形・評価	志田英士
PP/CNF複合材に対するめっき密着性の評価	田中宏樹
セルロースナノファイバーを添加したモルタルのひび割れと収縮	村松重緒
セルロースナノファイバーによる香り放散機構の解明	石橋佳奈
静岡県産アカモクの機能性成分及び微生物評価	浅沼俊倫
緑茶葉の微細化素材開発	松野正幸
新マイクロ波抽出技術による魚節フレーバー濃縮エキスの開発	渡瀬隆也
新規なこんにゃくハンバーグの開発	三宅健司
機能向上を狙った静岡県産農産物の乳酸菌発酵	袴田雅俊
しずおか有用微生物ライブラリーを活用した静岡サワービールの開発（Ⅱ） ー最適微生物株の選抜ー	望月玲於
しずおか有用微生物ライブラリーを活用した静岡サワービールの開発（Ⅲ） ー試作品の製造及び評価ー	勝山 聡
県オリジナル酒造好適米新系統の醸造適性評価	鈴木雅博
静岡版メタン発酵プラントの実証化試験について	太田良和弘
メタン発酵処理に適する食品廃棄物の性状に関する考察	室伏敬太
木工プレス機の荷重管理状況調査	渡邊雅之
衝撃荷重を想定した椅子の耐久性試験の提案	菊池圭祐
発泡体の構造解析に向けた材料特性パラメータの導出	船井 孝
搾乳作業における身体負担を軽減するしゃがみ姿勢の提案	大賀久美

(b) 令和元年度富士工業技術支援センター研究発表会の実績（令和2年10月28日）

テーマ名	発表者
「ふじのくに CNF 研究開発センター」の紹介	大竹正寿
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 ～研究の背景と概要～	大竹正寿
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 ～マイクロX線CTによるCNF複合材のCNF分散性評価～	田中翔悟
CNFによる地域産業の活性化支援研究 ～CNFの繊維製品への活用の検討～	河部千香
繊維長分布測定装置の概要と利用例	齊藤和明
段ボール古紙の印刷用紙への活用可能性の検討	齊藤将人
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発（総論）	高木 誠
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発（プラズマ照射効果の分析）	高木 誠
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発（接着性向上について）	稲葉彩乃
深層学習を利用した牛分娩検知システムの開発	井出達樹

(c) 令和2年度浜松工業技術支援センター研究発表会の実績（令和3年3月8日）

テーマ名	発表者
新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料（CFRP）の高効率成形技術の確立	鈴木重好
CFRPの基材となるUDテープ製造技術の確立	長房秀幸
新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料（CFRP）の高効率成形技術の確立～開発中の成形材料の成形条件の確立について～	森田達弥
材料評価・解析のための効果的・効率的な試料調製方法のご紹介	吉岡正行
めっき法によるラフネス構造の形成と撥水化への応用	田光伸也
X線回折による硬さ測定に及ぼす鋼種の影響	小粥基晴
機器分析による薄膜の評価解析方法について	長田貴将
マイクロチップレーザーによるレーザーピーンフォーミングの変形モード	鷺坂芳弘
試料表面の色から粗さを推定する	中野雅晴
光散乱解析を用いた偏光計測の可否判定	太田幸宏
EMC試験設備の紹介と試験時の留意点	上野貴康
摩擦攪拌接合したアルミニウム合金鋳造材継手の組織と機械的性質	岩澤 秀
非接触三次元ひずみ・変形測定機の測定事例紹介	長津義之
計測用X線CTの精度評価	針幸達也

(d) 令和2年度静岡県工業技術研究所研究発表会の実績(令和3年3月9日ー令和3年3月10日)

テーマ名	発表者
静岡県 IoT 推進ラボのリニューアル	赤堀 篤
IoT導入のための企業向け実習について	山口智之
自作型IoTシステムの使いやすさについて	岩崎清斗
データ圧縮アルゴリズムを活用した画像認識AIにおける効率的学習手法の開発	松下五樹
医療用チタン合金の鍛造条件を探索するためのシミュレーションシステムの構築	是永宗祐
小児・嚥下困難者のための錠剤粉碎技術の開発 ー病院・薬局での調剤作業簡易化を目指してー	松野正幸
静岡県産品を活用した化粧品の開発支援 ー収集・素材化および機能性の探索・向上研究の取組みー	山下里恵
CNFを活用したアロマ基礎化粧品の開発	石橋佳奈
マグロ未利用部位機能性成分抽出技術の検討 ー食品・化粧品素材開発ー	三宅健司
新マイクロ波抽出技術によるかつお節フレーバー濃縮エキスの開発	渡瀬隆也
駿河湾由来乳酸菌を用いた乳酸発酵甘酒の開発	浅沼俊倫
チーズ製造に適した駿河湾由来乳酸菌の選抜	袴田雅俊
海洋資源からのサワービール及び生醗系清酒用乳酸菌の選抜	勝山 聡
静岡酵母HD-1と麹菌の組み合わせが清酒の酒質に及ぼす影響	鈴木雅博
家畜ふん尿の乾燥及び燃料化技術の開発	岡本哲志
静岡版メタン発酵技術の普及支援	太田良和弘
デザインを活用した課題解決について ーデザインマッチング事業の紹介ー	大賀久美
介護動作指導支援システムのユーザビリティ評価	易 強
衝撃荷重を想定した椅子の背もたれの試験方法の提案	菊池圭祐
木工プレス機の荷重管理状況調査 ープレス荷重の「見える化」についてー	渡邊雅之
積層板の音響特性における接着剤の影響	村松重緒
車載光学機器産業を支援する設計・評価・生産支援技術の開発	豊田敏裕
照明シミュレーションによるヘッドアップディスプレイの設計評価	豊田敏裕
表面性状測定データを用いた切削加工面の表面散乱光予測	志智 亘
車載光学機器部品における微細構造評価について	柳原 亘
機械電子科に新たに整備した高精度自由曲面測定機の紹介	大澤洋文

テーマ名	発表者
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 —CNFがPP/CNF複合材に及ぼす影響—	大竹正寿
高濃度CNFのマスターバッチを用いたPP/CNF複合材料の試作と評価	菅野尚子
CNFマスターバッチのブロー成形への適用とその評価	小泉雄輔
熔融樹脂と金属部材表面の剥離性評価 —第2報—	稲葉彩乃
PP/CNF複合材に対するめっき密着性の評価（Ⅱ）	田中宏樹
環境に優しい樹脂めっきプロセスの開発（Ⅱ）	望月玲於
金属材料科の機器の紹介 —鋼種推定を中心に—	鈴木洋光

（e）令和2年度富士工業技術支援センター研究発表会の実績（令和3年3月11日）

テーマ名	発表者
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 —背景と今年度の研究概要—	大竹正寿
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 —X線CTによるPP/CNF複合材の分散性評価—	田中翔悟
リファイナーを用いたCNF製造の試み	河部千香
再生紙の低密度化に関する研究	齊藤和明
ほぐれやすさ試験機の技術開発	齊藤将人
新型プラズマ照射装置とその応用事例	高木 誠
深層学習を利用した牛分娩検知システムの開発	井出達樹

(ウ) 研究所情報等の提供

刊行物名	発行部数 (部)	ホームページ 掲載
工業技術研究所各科紹介チラシ	—	○
沼津工業技術支援センターニュース	—	○
富士工業技術支援センターニュース	400	○
富士工業技術支援センター利用案内	400	—
浜松工業技術支援センターニュース	2,000	○
静岡県工業技術情報	—	○
静岡県工業技術研究所年報	—	○
静岡県工業技術研究所メールマガジン(2週間に1回発行)	23回	—

(エ) 研究所の事業広報等

見学の受入	工業技術研究所		499人
	沼津工業技術支援センター		29人
	富士工業技術支援センター		143人
	浜松工業技術支援センター		18人
「県民の日」	工業技術研究所	開催年月日	—
		参加者数	—
研究所 フェア	沼津工業技術支援センター	開催年月日	—
		参加者数	—
及び	富士工業技術支援センター	開催年月日	—
		参加者数	—
センター フェア	浜松工業技術支援センター	開催年月日	—
		参加者数	—

※ 令和2年度の研究所フェア及びセンターフェアについては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

(オ) 講習会等

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	実施回数	参加者数
工業技術研究所	1 5	8 7 8
沼津工業技術支援センター	5	1 6 7
富士工業技術支援センター	4	3 1
浜松工業技術支援センター	2	3 3 7
合計	2 6	1, 4 1 3

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	件 名		会 場	参加 人数 ^(※)	共催等
R2. 9. 14	自立分散型エネルギー生産に関する学習会と発酵プラントやIoT推進ラボの設備見学		工業技術研究所 小瀬戸バイオリアクター	16	静岡県資源環境技術研究会
R2. 10. 8	食品技術研修会	第264回	Web開催	51	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R2. 10. 30		第265回	Web開催	124	静岡県食品技術研究会 静岡大学 静岡県食品産業協議会
R2. 12. 17		第266回	Web開催	36	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R3. 2. 24		第267回	Web開催	112	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R2. 12. 1	IoT環境構築のため技術知識		静岡県産業経済会館	42	静岡県IoT活用研究会
R2. 12. 1	第9回排水処理技術セミナー		Web開催	64	静岡県資源環境技術研究会 静岡県環境保全協会 静岡市資源環境保全推進協力会
R2. 12. 16	初心者でも良くわかるIoT体験セミナー		工業技術研究所	10	(公財)浜松地域イノベーション推進機構フォトンバレーセンター
R2. 12. 22	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座		工業技術研究所	10	静岡県IoT活用研究会
R2. 12. 23	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会講習会	第1回	Web開催	13	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会
R3. 3. 3		第2回	Web開催	26	
R3. 2. 9	分析技術Webセミナー		Web開催	49	静岡県資源環境技術研究会

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R3. 2. 18	「IoT大学連携講座」成果発表会	静岡県産業経済会館	34	静岡県IoT活用研究会
R3. 3. 3	自立分散型エネルギー生産に関するWeb学習会	Web開催	30	静岡県資源環境技術研究会
R3. 3. 22	化粧品開発に役立つ基礎研究フォーラム	Web開催	261	静岡県立大学 静岡県産業振興財団
実施回数 15 回			参加者数 878 人	

※) Web開催については、接続端末数

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R2. 10. 6	HACCP webセミナー	Web開催	15	沼津センター協議会
R2. 11. 13	静岡県東部精密技術研究会第31回総会・設立30周年特別講演会	沼津工業技術支援センター	63	静岡県東部精密技術研究会 沼津センター協議会
R2. 12. 8	ものづくりに活かす強度試験の技術と動向	Web開催	15	沼津センター協議会
R3. 2. 9	ローカル5G・IoTセミナー	Web開催	29	沼津センター協議会
R3. 2. 26	信頼性評価のための振動試験と最新規格動向	Web開催	45	沼津センター協議会
実施回数 5 回			参加者数 167 人	

※) Web開催については、接続端末数

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R3. 3. 5	静岡県紙パ技術研究フォーラム第1回オンライン技術勉強会	Web開催	6	静岡県紙パ技術研究フォーラム
R3. 3. 22	CNF実践セミナー	富士工業技術支援センター	5	工業技術研究所富士センター協議会
R3. 3. 23			6	富士市CNFプラットフォーム 富士市
R3. 3. 1- R3. 3. 31	ふじのくにCNFプロジェクトCNF技術者研修	富士工業技術支援センター	14	工業技術研究所富士センター協議会
実施回数 4 回			参加者数 31 人	

※) Web開催については、接続端末数

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	件 名	会 場	参加 人数※)	共催等
R3. 3. 15- R3. 4. 30	FT-IR（フーリエ変換赤外分 光分析装置）セミナー	Web開催	287	浜松センター協議会
R3. 2. 10	温度測定の基礎	Web開催	50	浜松機械技術研究会
実施回数 2 回			参加者数 337 人	

※) Web開催については、接続端末数

(カ) 講師活動

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

	活動回数	参加者数
工業技術研究所	1 2	3 8 0
沼津工業技術支援センター	7	2 7 3
富士工業技術支援センター	4	3 4 1
浜松工業技術支援センター	8	4 5 5
合計	3 1	1, 4 4 9

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	講習会等の名称		会場	参加者数	主催	講師氏名
R2. 9. 29	初心者向けIoTセミナー		工業技術研究所	10	静岡県	山口智之
R2. 10. 15	総合食品学講座	微生物検査技術 I	静岡県立大学	33	(公財) 静岡県産業振興財団	袴田雅俊
R2. 10. 22		小型食品加工機器実習		26		渡瀬隆也
R2. 10. 29		食品の機器分析実習 (GC, LC)	工業技術研究所	31		浅沼俊倫 松野正幸 石橋佳奈
R2. 11. 26		微生物基礎実習		9		山下里恵 渡瀬隆也 浅沼俊倫 松野正幸 三宅健司 袴田雅俊 石橋佳奈
R2. 11. 20	第10回産業振興フェア in いわた 静岡県研究所と企業のオンライン交流会		Web開催	55	磐田市 磐田商工会議所 磐田市商工会	鈴木敬明 鬼久保郁雄 田中伸佳
R2. 12. 1	IoT環境構築のため技術知識		静岡県産業経済会館	42	静岡県産業経済会館	山口智之
R2. 12. 3	地域食材学		Web開催	107	静岡県立大学	渡瀬隆也
R2. 12. 16	初心者でも良くわかるIoT体験セミナー		工業技術研究所	10	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構フォトンバレーセンター	山口智之

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R2. 12. 22	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座	工業技術研究所	10	静岡県IoT活用研究会	山口智之
R2. 12. 23	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会第1回講習会	Web開催	13	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	小松 剛 村松重緒
R3. 2. 18	「IoT大学連携講座」成果発表会	静岡県産業経済会館	34	静岡県	山口智之
活動回数 12回			参加者数 380人		

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R2. 9. 18	幾何公差	沼津工業技術支援センター	3	沼津技術専門校	本多正計 船井 孝
R2. 11. 20	第10回産業振興フェアinいわた 静岡県研究所と企業のオンライン交流会	Web開催	55	磐田市 磐田商工会議所 磐田市商工会	三浦 清
R2. 12. 8	ものづくりに活かす強度試験の技術と動向	Web開催	15	沼津センター協議会	松下五樹
R3. 2. 23	令和2年度誉富士セミナー	Web開催	70	静岡県誉富士普及推進協議会	勝山 聡
R3. 2. 26	信頼性評価のための振動試験と最新規格動向	Web開催	45	沼津センター協議会	本多正計
R3. 3. 20	食品技術士センター3月例会・講演会	Web開催	33	食品技術士センター	黒瀬智英子
R3. 3. 26	グリーン科学技術研究所共同機用機器セミナー	Web開催	52	静岡大学	高木啓詞
活動回数 7回			参加者数 273人		

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R2. 11. 20	第10回産業振興フェア in いわた 静岡県研究所と企業のオンライン交流会	Web開催	55	磐田市 磐田商工会議所 磐田市商工会	飯野 修
R2. 11. 25	静岡県高等学校理科教育研究会 東部支部物理部会研修会	静岡県立吉原高等学校	16	静岡県高等学校理科教育研究会 東部支部物理部会	飯野 修
R3. 2. 26	ビジネスマッチング交流会	富士市交流センター	18	富士山麓医療関連機器製造業者等交流会	高木 誠
R3. 3. 11- R3. 3. 21	ふじのくにCNF総合展示会 C N F 技術講演会	Web開催	252	静岡県	河部千香
活動回数 4 回			参加者数 341 人		

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R2. 6. 4	静岡大学 経営システム工学科講義	Web開催	30	静岡大学	針幸達也
R2. 9. 24	生産性向上在職者訓練「3D-CAD&3Dプリンター活用法」	浜松工業技術センター	6	浜松技術専門校	伊藤芳典
R2. 9. 29	生産性向上在職者訓練「チタンとその加工技術」	浜松技術専門校	8		植松俊明
R2. 10. 6	生産性向上在職者訓練「TIG溶接と試験・検査法」	浜松工業技術センター	5		伊藤芳典
R2. 11. 20	第10回産業振興フェア in いわた 静岡県研究所と企業のオンライン交流会	Web開催	55	磐田市 磐田商工会議所 磐田市商工会	松田 稔
R3. 1. 27	2020年度航空宇宙中核人材育成講座	浜松技術専門校	17	浜松商工会議所	植松俊明
R3. 2. 18	マイクロ固体フォトニクス研究会	分子科学研究所 & Web	47	マイクロ固体フォトニクス研究会	鷺坂芳弘
R3. 3. 15- R3. 4. 30	FT-IR（フーリエ変換赤外分光分析装置）セミナー	ふじのくにネットテレビ・YouTube	287	浜松センター協議会	吉岡正行
活動回数 8 回			参加者数 455 人		

(キ) 委員派遣

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	6 7	7 1
沼津工業技術支援センター	1 4	1 8
富士工業技術支援センター	4 1	4 2
浜松工業技術支援センター	8 4	8 5
合計	2 0 6	2 1 6

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 4. 13	令和2年度マーケティング課関係事業担当者会議	静岡県庁	静岡県	渡瀬隆也
R2. 4. 14	令和2年度食品等開発助成事業及び化粧品等研究開発推進事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	山下里恵
R2. 6. 26				
R2. 4. 17	医療機器等開発可能性調査審査会	(電子メール)	(公財) ふじのくに医療城下町推進機構	田中伸佳
R2. 7. 9		静岡県産業経済会館		
R2. 7. 16		(電子メール)		
R2. 4. 24	ISO/TC213C国内委員会、JIS原案作成委員会	(Web)	(一財) 日本規格協会	柳原 亘
R2. 6. 9				
R2. 12. 18				
R3. 2. 15				
R2. 5. 14	(一財) 日本塗料検査協会委員会	(書面)	(一財) 日本塗料検査協会	渡邊雅之
R2. 5. 19- R2. 5. 25	経営革新計画促進事業費補助金(新商品等開発)審査	(書面)	静岡県	望月一男
R2. 6. 4	次世代自動車技術革新対応促進助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	望月一男
R2. 6. 4	先端企業育成プロジェクト事業化推進助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	望月一男

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 6. 4	産学共同研究委託事業選考 審査会	静岡市産学交流セン ター	静岡市産学交流セ ンター	鈴木敬明
R2. 6. 19				
R2. 6. 5	静岡県健康食ビジネスモデル 創出業務委託企画提案審 査委員会	(Web)	静岡県	望月一男
R2. 6. 5- R2. 6. 15	経営革新計画促進事業費補 助金（販路開拓・生産性向 上）審査	(書面)	静岡県	望月一男
R2. 6. 9	新成長産業戦略的育成事業 助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	望月一男
R2. 6. 11				
R2. 6. 12				
R2. 6. 10	機能性表示食品等研究開発 推進事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	望月一男
R2. 6. 10	加工食品輸出スタートアッ プ支援事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	望月一男
R2. 7. 14	経営革新計画承認審査	県庁	静岡県	田中伸佳
R2. 7. 31				田中伸佳 鬼久保郁雄
R2. 8. 19				鈴木敬明
R2. 10. 30				
R2. 11. 30				
R2. 12. 10				
R3. 1. 29				鬼久保郁雄
R3. 3. 12				
R3. 3. 26				田中伸佳
R2. 7. 21- R2. 7. 22	医療機器産業基盤強化推進 事業助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	静岡県	望月一男
R2. 7. 21	静岡県支援機関等連絡促進 会議	(Web)	(公財) 静岡県産 業振興財団	鈴木敬明
R2. 7. 22	マリンオープンイノベーション 事業化促進事業費補助 金審査委員会	(Web)	静岡県	田中伸佳
R3. 3. 16				
R2. 7. 27	中部地域産学連携コーディ ネータ会議	静岡市産学交流セン ター	静岡市産学交流セ ンター	鈴木敬明
R2. 12. 11				

年月日	委員会等の名称		会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 8. 21	海洋技術開発促進事業費補助金審査会		(Web)	静岡県	田中伸佳
R3. 3. 15					
R2. 8. 27	日本食品化学工学会中部支部運営委員会		(Web)	日本食品科学工学会中部支部	渡瀬隆也
R2. 9. 2	グッドデザイン	1次審査	(Web)	静岡県	望月一男
R2. 10. 8		2次審査	県庁		
R2. 11. 16		表彰式			
R2. 9. 3	静岡大学FSSコンソーシアム会議		(Web)	静岡大学	鈴木敬明
R2. 9. 11	科学技術振興表彰審査		(Web)	静岡県	望月一男
R2. 9. 25	中部公設試験研究機関長会議		(Web)	(公財) 中部科学技術センター	望月一男
R2. 9. 30	静岡地域産学連携コーディネータ会議		工業技術研究所	静岡市産学交流センター	鈴木敬明
R2. 10. 16	第16回静岡県水産加工品総合品評会審査会		水産・海洋技術研究所	静岡県水産加工業協同組合連合会	望月一男
R2. 10. 20	第68回静岡県学生児童発明くふう展		静岡県産業経済会館	(一社) 静岡県発明協会	大賀久美
R2. 10. 26	静岡県先端産業創出プロジェクト連携会議		工業技術研究所	静岡県	鈴木敬明
R2. 10. 27	緊急時医療用ガウン等生産体制構築事業実証委託審査会		県庁	静岡県	望月一男
R2. 11. 5	型技術ワークショップ第1回実行員会		沼津工業技術支援センター	(一社) 型技術協会	杉山 治
R2. 11. 17	第1回静岡・シンガポールアグリフードフォーラム		(Web)	静岡県	望月一男 田中伸佳 山下里恵
R2. 11. 20	産業振興フェアinいわた県研究所オンライン交流会		(Web)	磐田商工会議所	望月一男 鈴木敬明
R2. 11. 20	第16回静岡県水産加工品総合品評会表彰式		中島屋グランドホテル	静岡県水産加工業協同組合連合会	望月一男
R3. 1. 28	第8回世界お茶まつりポスターデザイン選定委員会		しずおか0 - C H A プラザ	静岡県	大賀久美
R3. 2. 5	令和3年度新成長産業戦略的育成事業 第1回事業推進委員会		静岡産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	望月一男
R3. 2. 12	マリンオープンイノベーションP戦略推進委員会		(Web)	静岡県	望月一男

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 2. 22	静岡市福祉用具検討会	(書面)	静岡市	小松 剛
R3. 3. 2	FHCaOI 令和 2 年度 第 2 回 産学官金連携会議	(Web)	静岡県	山下里恵
R3. 3. 3	令和 2 年度総合食品学講座 事業推進委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	山下里恵
R3. 3. 4	CNFラボ入居共同研究中間 評価委員会	(Web)	静岡県	望月一男
R3. 3. 12	新成長産業戦略的育成事業 助成事業審査会	静岡産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	望月一男
R3. 3. 12	次世代自動車技術革新対応 促進助成事業審査会	静岡産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	望月一男
R3. 3. 22	健康食ビジネスモデル創出 業務委託の継続審査	(Web)	静岡県	望月一男
R3. 3. 29	フーズ・ヘルスケアオーブ ンイノベーション戦略検討 委員会	(Web)	静岡県	望月一男
派遣回数 6 7 回			派遣人数 (延べ) 7 1 人	

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 5. 18	型技術ワークショップ第 1 回実行委員会	(書面)	(一社) 型技術協会	大川勝正 本多正計
R2. 6. 23	静岡県誉富士普及推進会議幹事会	(書面)	静岡県誉富士普及推進会議幹事会	大川勝正
R2. 6. 23	静岡県東部精密技術研究会役員会	沼津工業高等専門学校	静岡県東部精密技術研究会	三浦 清 本多正計
R2. 7. 1	静岡化学工学懇話会令和 2 年度総会	(書面)	静岡化学工学懇話会事務局	三浦 清
R2. 7. 22	静岡県東部地域技術振興協議会	(書面)	静岡県東部地域技術振興協議会	大川勝正
R2. 9. 11	静岡県科学技術振興表彰選考委員会	(Web)	静岡県	大川勝正
R2. 9. 29	令和 2 年度名古屋国税局酒類鑑評会品質評価会	名古屋国税局鑑定官室	名古屋国税局	黒瀬智英子
R2. 9. 30				勝山 聡
R2. 11. 5	令和 2 年度名古屋国税局酒類鑑評会製造技術研究会	名古屋国税局鑑定官室	名古屋国税局	勝山 聡
R2. 11. 5	型技術ワークショップ第 2 回実行委員会	沼津工業技術支援センター	(一社) 型技術協会	大川勝正 本多正計
R2. 12. 3- R2. 12. 4	型技術ワークショップ2020 inふじのくに	ブラサヴェルデ	(一社) 型技術協会	大川勝正 本多正計
R3. 2. 17	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	(Web)	静岡県	大川勝正
R3. 2. 18	第 1 回富士山麓産業支援ネットワーク会議	(Web)	(公財) ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター	飯塚千佳世
R3. 3. 11	令和 2 年度三重県新酒品評会	三重県工業研究所	名古屋国税局	勝山 聡
派遣回数 14 回			派遣人数 (延べ) 18 人	

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称		会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 4. 21	岳南地域地下水利用対策協議会第1回委員・幹事合同会議		(書面)	岳南地域地下水利用対策協議会	佐野禎彦
R2. 4. 28	静岡県創業者育成施設入居審査委員会		県庁	静岡県	佐野禎彦
R2. 4. 30	富士市セルロースナノファイバー関連産業創出事業に係る審査委員会		富士市役所	富士市	佐野禎彦
R2. 5. 13	紙パルプ技術協会理事会	第1回	ホテルグランド富士	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	佐野禎彦
R2. 8. 19		第2回			
R2. 12. 10		第3回			
R3. 3. 18		第4回			
R2. 5. 13	紙パルプ技術協会運営委員会		ホテルグランド富士	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	佐野禎彦
R2. 6. 3	機能紙研究会 第1回理事会		(書面)	(特非) 機能紙研究会	佐野禎彦
R2. 6. 9	C N F 活用試作品開発事業費補助金に係る審査委員会		県庁	静岡県	佐野禎彦
R2. 6. 10	富士山麓医療関連機器製造業者等交流会運営会議	第1回	富士市役所	富士山麓医療関連機器製造業者等交流会	飯野 修
R2. 8. 25		第2回	富士市役所		
R2. 12. 9		第3回	富士市交流プラザ		
R3. 3. 12		第4回	富士市役所		
R2. 6. 10- R2. 6. 12	繊維学会年次大会実行委員会		(書面)	繊維学会	深沢博之
R2. 7. 6	富士市工業振興会議		(書面)	富士市	佐野禎彦
R2. 10. 6			富士市役所		
R2. 7. 10	富士市産業経済問題懇話会	第1回	富士商工会議所	富士市産業経済問題懇話会	佐野禎彦
R3. 2. 12		第2回			
R2. 7. 20	富士ブランド推進会議	第1回	富士商工会議所	富士商工会議所	佐野禎彦
R2. 9. 18		第2回			
R2. 8. 26	インキュベートセンター入居審査		県庁	静岡県	佐野禎彦
R2. 9. 30					

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 9. 1	国際森林製紙団体協議会若手研究者表彰選考委員会	(Web)	紙パルプ技術協会 木材科学委員会	佐野禎彦
R2. 9. 4	富士市CNF関連産業推進懇話会	富士市役所	富士市	佐野禎彦
R2. 9. 8	新型コロナウイルス対応補助金の公募に係る審査委員会	富士市役所	富士市	佐野禎彦
R2. 9. 9	木材科学委員会	(Web)	紙パルプ技術協会 木材科学委員会	佐野禎彦
R3. 3. 3				
R2. 9. 11	県科学技術振興表彰審査会	(Web)	静岡県	佐野禎彦
R2. 10. 27	サンフロン21懇話会第26回伊豆地区分科会	(Web)	サンフロン21懇話会	佐野禎彦
R2. 11. 5	機能紙研究会企画委員会	(Web)	(特非) 機能紙研究会	深沢博之
R2. 11. 9	富土地域再生家庭紙利用促進協議会総会	富士市役所	富土地域再生家庭紙利用促進協議会	佐野禎彦
R2. 11. 25	「紙パルプの技術」編集委員会	(書面)	県紙パルプ技術協会	佐野禎彦 杉本芳邦
R2. 11. 27	富士市立博物館協議会	富士山かぐや姫ミュージアム	富士市立博物館	佐野禎彦
R3. 1. 28	サンフロン21懇話会第26回全体会	(Web)	サンフロン21懇話会	佐野禎彦
R3. 2. 10	機能紙研究会通常総会	(書面)	(特非) 機能紙研究会	佐野禎彦
R3. 2. 17	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	(Web)	静岡県	佐野禎彦
R3. 2. 18	第1回富士山麓産業支援ネットワーク会議	(Web)	(公財) ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター	本間信行
R3. 2. 24	サンフロン21懇話会東部・富士山地区合同分科会	(Web)	サンフロン21懇話会	佐野禎彦
R3. 3. 26	富士市CNF関連産業創出事業報告・審査会	富士市役所	富士市	佐野禎彦
R3. 3. 31	日本木材学会パルプ・紙研究会幹事会	(Web)	日本木材学会パルプ・紙研究会	深沢博之
派遣回数 41回			派遣人数(延べ) 42人	

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 4. 13	電線総合技術センター適合性評価委員会	第41回	(一社) 電線総合技術センター	松田 稔
R2. 4. 17		第42回		
R2. 4. 30		第43回		
R2. 5. 22		第44回		
R2. 6. 15		第45回		
R2. 6. 19		第46回		
R2. 7. 10		第47回		
R2. 7. 17		第48回		
R2. 8. 21		第49回		
R2. 9. 3		第50回		
R2. 9. 18		第51回		
R2. 10. 7		第52回		
R2. 10. 22		第53回		
R2. 11. 19		第54回		
R2. 12. 10		第55回		
R2. 12. 18		第56回		
R3. 1. 14		第57回		
R3. 1. 25		第58回		
R3. 2. 10		第59回		
R3. 2. 25		第60回		
R3. 3. 24		第61回		
R3. 3. 25		第62回		
R2. 4. 21	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業運営委員会ワーキング会議	第72回	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	山下清光
R2. 6. 16		第73回		
R2. 9. 16		第74回		
R2. 11. 17		第75回		
R3. 1. 19		第76回		

年月日	委員会等の名称		会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 4. 21	HFP定例会	第 1 回	浜松商工会議所会館	(一社) 静岡県繊維協会	鈴木一之
R2. 5. 19		第 2 回			
R2. 6. 26		第 3 回			
R2. 7. 28		第 4 回			
R2. 5. 1	A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業 第 5 期採択審査会		静岡大学浜松キャンパス	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	杉山直人
R2. 5. 20	鑄造工学会 軽合金研究部会		(Web)	鑄造工学会	岩澤 秀
R2. 10. 19					
R2. 12. 23					
R3. 1. 15					
R3. 2. 5					
R2. 5. 22	地域産学官共同研究拠点「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」令和 2 年度 第 1 回事業運営委員会		浜松医科大学	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	杉山直人 山下清光
R2. 5. 25	戦略的基盤技術高度化支援事業（テーマ：次世代自動車向け軸付きはすば歯車の冷間鍛造新製法にかかる研究開発）研究実務者会議	第 1 回	金田工業（株）	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	伊藤芳典
R2. 7. 20		第 2 回			
R2. 10. 14		第 3 回			
R2. 11. 18		第 4 回			
R3. 2. 22		第 5 回			
R2. 5. 26	先端精密技術研究会幹事会		(Web)	先端精密技術研究会	渥美博安
R2. 5. 29	塑性加工学会会報誌編集委員会		(Web)	塑性加工学会	鷺坂芳弘
R2. 7. 2					
R2. 9. 3					
R2. 11. 5					
R2. 12. 1					
R2. 12. 17					
R3. 1. 28					
R3. 2. 7					
R3. 2. 21					
R3. 3. 18					

年月日	委員会等の名称		会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 6. 2	戦略的基盤技術高度化支援事業（テーマ：難加工材の微細・高精度成形を可能にする温間順送プレス工法の開発）研究実務者会議	第1回	浜松工業技術支援センター	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	伊藤芳典
R2. 7. 14		第2回	(株) 南部製作所		
R2. 11. 10		第3回			
R3. 2. 24		第5回			
R2. 6. 9	静岡化学工学懇話会役員会		(電子メール)	静岡化学工学懇話会	杉山直人
R2. 6. 11	はままつ知財研究会幹事会		(Web)	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	杉山直人
R2. 6. 11	車載EMC計測技術開発WG		(Web)	KEC関西電子工業振興センター	山田浩文
R2. 7. 11			KEC関西電子工業振興センター		
R2. 9. 11			(Web)		
R2. 6. 12	中小企業等危機克服チャレンジ支援事業費補助金（マスク等生産設備導入事業）審査委員会		県庁	静岡県	杉山直人
R2. 6. 23	静岡県創業者育成施設入居審査委員会		県庁	静岡県	杉山直人
R2. 7. 29					
R2. 7. 7	令和2年度医工連携スタートアップ支援事業	審査会	浜松医科大学医工連携拠点棟	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	松田 稔
R2. 8. 24			(電子メール)		
R3. 2. 24		成果報告会	ホテルクラウンパレス浜松		
R2. 7. 14	鋳造工学会東海支部会議		(Web)	鋳造工学会東海支部	岩澤 秀
R2. 8. 3	令和2年度光・電子技術活用促進事業費補助金審査会		(公財)浜松地域イノベーション推進機構 フォトンバレーセンター	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	松田 稔
R3. 3. 19	令和2年度光・電子技術活用促進事業費補助金成果報告会		(電子メール)		
R2. 8. 20	技術委員会 第一分科会		(Web)	中部エレクトロニクス振興会	山田浩文
R3. 3. 29					

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 9. 25	KECシェアードミーティング	(Web)	KEC関西電子工業振興センター	山田浩文
R3. 3. 17				
R2. 11. 17	レーザー中核人材企画運営会議	遠鉄百貨店貸会議室	光産業創成大学院大学	鷺坂芳弘
R3. 3. 2				
R2. 12. 3	型技術ワークショップ2020 inふじのくに	プラサヴェルデ	(一社) 型技術協会	伊藤芳典
R2. 12. 3	鑄造工学会 東海支部 若手技術者討論会	(株)武村鑄造所	鑄造工学会 東海支部	岩澤 秀
R2. 12. 10	車載EMC計測技術開発WG	テュフラインドジャパン (株)	KEC関西電子工業振興センター	山田浩文
R3. 1. 28		(Web)		
R3. 2. 26	鑄造工学会 東海支部 技術講習会	(Web)	鑄造工学会 東海支部	岩澤 秀
R3. 3. 26	先端精密技術研究会 幹事会	(Web)	先端精密技術研究会	渥美博安
派遣回数 84 回			派遣人数 (延べ) 85 人	

(ク) 産業技術連携推進会議等への派遣

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	2 9	4 2
沼津工業技術支援センター	4	4
富士工業技術支援センター	8	1 3
浜松工業技術支援センター	1 0	1 0
合計	5 1	6 9

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 5. 20	産総研IC会議	(Web)	産総研	鈴木敬明
R2. 6. 19	つながる工場テストベッド事業	(web)	産総研	赤堀 篤
R2. 7. 27			工業技術研究所	鬼久保郁雄 赤堀 篤
R2. 12. 14		工業技術研究所	工業技術研究所	赤堀 篤
R2. 7. 1	産技連東海北陸地域産技連、産技連東海・北陸地域部会総会	(書面)	産技連東海北陸地域産技連 産技連東海・北陸地域部会	望月一男
R2. 7. 20	中部イノベーション2020年度運営委員会	(Web)	中部イノベーション	望月一男
R2. 7. 27- R2. 7. 28	第7回地域イノベーションコーディネータ会議	(Web)	産総研	鈴木敬明
R2. 7. 28	公立鉾工業試験研究機関長協議会総会	(書面)	公立鉾工業試験研究機関長協議会	望月一男
R2. 9. 25	令和2年度中部公設試験研究機関長会	(Web)	中部科学技術センター	望月一男
R2. 10. 13	産技連製造プロセス部会塗装工学分科会	(電子メール)	産技連 製造プロセス部会塗装工学分科会	渡邊雅之
R2. 10. 15	産技連東海・北陸地域部会物質・エネルギー・環境分科会	(Web)	産技連東海・北陸地域部会 物質・エネルギー・環境分科会	望月一男 田中伸佳
R2. 10. 16	TKF/MTEP会議	(Web)	TKF/MTEP	鈴木敬明 増井裕久
R2. 10. 20	令和2年度 静岡・香川地方創生事業調整会議	(Web)	静岡県	山下里恵

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 11. 5- R2. 11. 6	産技連ライフサイエンス部 会第27回デザイン分科会	(Web)	産技連ライフサイ エンス部会	小松 剛 多々良哲也
R2. 11. 24	産技連関東甲信越静地域部 会総会	(Web)	産技連	望月一男
R2. 11. 25	産技連東海・北陸地域部会 機械・金属分科会	(Web)	産技連東海・北陸 地域部会 機械・ 金属分科会	望月一男 鬼久保郁雄 長谷川和宏 鈴木洋光 田中宏樹 望月玲於
R2. 11. 27	産技連ナノテクノロジー・ 材料部会第14回木質科学分 科会	(書面)	産技連ナノテクノ ロジー・材料部会 木質科学分科会	長澤 正
R2. 12. 3	第48回計測分科会光放射計 測研究会	(Web)	産技連知的基盤部 会	豊田敏裕 志智 亘 柳原 亘
R3. 1. 18	産総研第3回地域ICウェビ ナー	(Web)	産総研	鈴木敬明
R3. 1. 20	AI道場ミニキャンプ	(Web)	産総研	竹居 翼
R3. 1. 21	Kansai-3D 公設試験研究機 関勉強会	(Web)	産総研	大澤洋文
R3. 1. 22	産技連東海・北陸地域部会 情報・電子デバイス分科会	(Web)	産技連東海・北陸 地域部会情報・電 子デバイス分科会	鬼久保郁雄 赤堀 篤
R3. 2. 2	第5回静岡県-産総研との 連携に係る連絡会議	(Web)	産総研	鈴木敬明
R3. 2. 15	産総研第8回地域IC会議	(Web)	産総研	鈴木敬明
R3. 2. 24	AI道場ミーティング	(Web)	産総研	竹居 翼
R3. 3. 2	令和2年度産技連 環境・ エネルギー部会・分科会・ 研究会合同総会	(Web)	産技連	宮原鐘一 太田良和弘
R3. 3. 3	第61回産技連総会	(Web)	産技連	望月一男
R3. 3. 15	令和2年度 食品試験研究 推進会議	(Web)	農研機構	山下里恵
R3. 3. 17	産技連関東甲信越静地域部 会企画調整分科会	(Web)	産技連	鈴木敬明
派遣回数 29 回			派遣人数（延べ） 42 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：（国研）産業技術総合研究所
農研機構：（国研）農業・食品産業技術総合研究機構
TKF：首都圏テクノナレッジフリーウェイ
MTEP：広域首都圏輸出製品技術支援センター

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 7. 1	産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会	(書面)	産技連 東海北陸地域産技連 産技連 東海・北陸地域部会	大川勝正
R2. 9. 25	令和2年度中部公設試験研究機関長会	(Web)	中部科学技術センター	大川勝正
R2. 11. 24	産技連 関東甲信越静部会 関東甲信越静産技連合同総会	(Web)	産技連 関東甲信越静地域産技連 産技連 関東甲信越静地域部会 関東経産局 産総研	大川勝正
R3. 3. 3	第61回産技連総会	(Web)	産技連	大川勝正
派遣回数 4 回			派遣人数(延べ) 4 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議

産総研：(国研) 産業技術総合研究所

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 5. 11	第1回産技連ナノテクノロジー・材料部会総会	(書面)	産技連ナノテクノロジー・材料部会	佐野禎彦
R2. 7. 1	産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会	(書面)	産技連 東海北陸地域産技連 産技連 東海・北陸地域部会	佐野禎彦
R2. 9. 25	令和2年度中部公設試験研究機関長会	(Web)	(公財) 中部科学技術センター	佐野禎彦
R2. 10. 15	産技連 東海・北陸地域部会 物質・エネルギー・環境分科会	(Web)	産技連 東海・北陸地域部会	佐野禎彦 飯野 修 大竹正寿
R2. 11. 24	産技連 関東甲信越静地域産業技術連携推進会議 産技連 関東甲信越静地域部会合同総会	(Web)	産技連 関東甲信越静地域産業技術連携推進会議 産技連 関東甲信越静地域部会 関東経済産業局 産総研	佐野禎彦
R2. 11. 26- R2. 11. 27	産技連ナノテクノロジー・材料部会紙・パルプ分科会	(書面)	産技連ナノテクノロジー・材料部会紙・パルプ分科会	佐野禎彦 飯野 修 深沢博之 齊藤将人
R3. 1. 29	産技連ナノテクノロジー・材料部会総会	(Web)	産技連ナノテクノロジー・材料部会	佐野禎彦

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 3. 3	産技連推進会議総会	(Web)	産技連	佐野禎彦
派遣回数 8 回			派遣人数 (延べ) 13 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：(国研)産業技術総合研究所

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 4. 16	産技連ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 東海地域連絡会総会	(電子メール)	産技連ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会	鈴木一之
R2. 6. 2	令和2年度 産技連 臨時総会	(書面)	産技連	杉山直人
R2. 6. 3	産技連東海・北陸地域部会機械・金属分科会 炭素繊維高度利活用技術研究会	(電子メール)	産技連東海・北陸地域部会 機械・金属分科会 炭素繊維高度利活用技術研究会	鈴木一之
R2. 6. 9	産技連ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 総会	(電子メール)	産技連ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会	鈴木一之
R2. 7. 1	産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会	(書面)	産技連東海北陸地域産技連 産技連東海・北陸地域部会	杉山直人
R2. 8. 27	平成3年度第1回デジタルものづくり研究会	(Web)	中部経済産業局	伊藤芳典
R2. 12. 15	Digmat-AM 3Dプリンタ勉強会 (平成3年度第3回デジタルものづくり研究会)	(Web)	「Digmat体験勉強会」事務局	小粥基晴
R3. 1. 15	産技連知的基盤部会電磁環境分科会 第18回関東甲信越静EMC研究交流会	(Web)	産技連知的基盤部会電磁環境分科会	山田浩文
R3. 1. 15	MTEP EMCパートナーグループ会	(Web)	栃木県産業技術センター	山田浩文
R3. 1. 27	平成26年度地域オープンイノベーション促進事業(航空)に係る連絡会議(第8回)	(Web)	静岡県	松田 稔
派遣回数 10 回			派遣人数 (延べ) 10 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議

(ケ) 学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	学会等発表回数 (ポスター発表 含む)	学会誌等投稿	一般誌投稿	展示会出展
工業技術研究所	5	3	2	6
沼津工業技術支援センター	4	2	0	10
富士工業技術支援センター	1	0	0	8
浜松工業技術支援センター	7	5	1	1
合計	17	10	3	25

(a) 工業技術研究所の実績 (※はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R2.6.17	赤外分光イメージングを用いたPP/CNF複合材料のCNF分散性評価-試料間の数値的比較-	プラスチック成形加工学会第31回年次大会	年次大会予稿集	菅野尚子他
R2.8.6	Metrology of Non-Planar Light Sources Using Near-Field Goniometric Measurement Method	DISPLAY WEEK 2020	—	豊田敏裕
R2.11.16	切削加工面の三次元表面性状測定による反射光分布の予測	一般社団法人日本光学会	年次学術講演開予稿集	志智 亘
R2.11.24	高濃度CNFのマスターバッチを用いたPP/CNF複合材料の試作と評価	プラスチック成形加工学会成形加工シンポジア'20	シンポジア予稿集	菅野尚子他
R2.12.9	体積比キャパシタンスのために最適化した脱灰コーヒー残さの水蒸気賦活	第30回日本MRS年次大会	—	菊池圭祐
学会誌及び専門誌への投稿				
R2.10.1	脱灰処理による竹活性炭の細孔構造変化と電気二重層キャパシタ特性の向上	—	木質炭化学会誌	菊池圭祐

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
R3.3.2	Proposal and validation of polyconvex strain-energy function for biological soft tissues	—	Bio-Medical Material and Engineering	鈴木敬明
R3.3.26	Efficient conversion of organic nitrogenous wastewater to nitrate solution driven by comammox Nitrospira	—	Water Research	室伏敬太
一般誌等への投稿				
R2.7.20	連載「果樹研究最前線」：「柑橘の機能性に着目した加工品開発」～食品の機能性を取り巻く静岡県の取組～	—	月刊誌『果実日本』8月号	浅沼俊倫 松野正幸
R3.2.26	令和元年度優良研究・指導業績表彰：「茶（チャ）未利用資源「茶の実油」利用技術の確立と製品化支援」	—	『食品の試験と研究』 No. 55	渡瀬隆也
展示会への出展				
R2.11- R3.3	静岡県工業技術研究所概要（材料部門、機械電子部門）	第10回産業振興フェア in いわた（Web）	—	鬼久保郁雄
	静岡県工業技術研究所概要（食品環境部門、ユニバーサルデザイン・工芸部門）			田中伸佳
R2.11.24- R3.3.31	赤外分光イメージングを用いたCNF分散性の数値的評価	2020ふじのくにCNF総合展示会（Web）	—	菅野尚子
	マスターバッチを使用したPP/CNF複合材の混練・成形・評価			志田英士
	セルロースナノファイバーによる香りの放散機構の解明			石橋佳奈
	セルロースナノファイバーを添加したモルタルのひび割れと収縮			村松重緒
合計件数 16 件		学会等発表 5 件・投稿等 5 件・展示会 6 件		

(b) 沼津工業技術支援センターの実績 (※はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R2. 9. 14	振動・動画刺激によって生 起される運動錯覚減少の強 化過程	日本機械学会2020年度 年次大会（Web）	—	本多正計
R2. 10. 21- R2. 10. 27	県内分離微生物のサワービ ール醸造特性評価	令和2年度日本醸造学会 大会（Web）	令和２年度日本醸造 学会大会要旨集 （オンラインでの公 開）	勝山 聡
R2. 12. 3	医療用チタン合金の最適鍛 造条件探索のためのシミュ レーションシステムの構築	型技術ワークショップ2 020inふじのくに	型技術 2020 Vol. 3 5 No. 12	是永宗祐
R2. 12. 3	鍛造シミュレーションの高度 化 — 進化的計算手法と 機械学習の活用—			松下五樹
学会誌及び専門誌への投稿				
R3. 3. 2	Proposal and validation o f polyconvex strain-energ y function for biological soft tissues	—	Bio-Medical Materia l and Engineering	船井 孝
R3. 3. 26	Efficient conversion of o rganic nitrogenous wastew ater to nitrate solustion driven by comammox Nitro spira	—	Water Research	高木啓詞
一般誌等への投稿				
実績なし				
展示会への出展				
R2. 11- R3. 3	沼津工業技術支援センター 概要	第10回産業振興フェア i nいわた（Web）	—	大川勝正 三浦 清 岩原健二 本多正計 飯塚千佳世
R2. 12. 2	沼津工業技術支援センター 概要	第15回静岡県東部テク ノフォーラムin沼津高 専	—	三浦 清 本多正計 飯塚千佳世
	しずおか有用微生物ライブ ラリを活用した静岡サワー ビールの開発			
	鍛造シミュレーションの高 精度化に向けた取り組み			
	鍛造シミュレーションの高度 化			
	携帯情報端末を活用した酸 素ボンベ残量モニタの開発			

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
R3. 3. 10	沼津工業技術支援センター概要	富士山麓産学官金連携 フォーラム2020	—	三浦 清 本多正計 飯塚千佳世
	しずおか有用微生物ライブ ラリを活用した静岡サワー ビールの開発			
	鍛造シミュレーションの高 精度化に向けた取り組み			
	携帯情報端末を活用した酸 素ボンベ残量モニタの開発			
合計件数 16 件		学会等発表 4 件・投稿等 2 件・展示会 10 件		

(c) 富士工業技術支援センターの実績 (※はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R2. 6. 12	段ボール古紙の印刷用紙への利用の検討	2020年度繊維学会年次大会	年次大会予稿集	齊藤将人
学会誌及び専門誌への投稿				
実績なし				
一般誌等への投稿				
実績なし				
展示会への出展				
R2. 10. 26	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	第1回CNF実用化セミナー（Web）	—	大竹正寿
	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 —X線CTによるPP/CNF複合材の分散性評価—			田中翔悟
R2. 11- R3. 3	富士工業技術支援センター概要	第10回産業振興フェアinいわた（Web）	—	飯野 修
R2. 11. 24- R3. 3. 31	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	2020ふじのくにCNF総合展示会（Web）	—	大竹正寿
	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 —マイクロX線CTによるCNF複合材の評価—			田中翔悟
	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化支援研究 —繊維製品への活用への検討—			河部千香
R3. 3. 10	静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センターの紹介	富士山麓産学官金連携フォーラム2020	—	本間信行
	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発—マイクロX線CTによるCNF複合材の評価—			本間信行
合計件数 9 件		学会等発表 1 件・投稿等 0 件・展示会 8 件		

(d) 浜松工業技術支援センターの実績 (※はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R2. 9. 10- R2. 9. 11	ニッケルめっきの2層化によるラフネス構造の作製	表面技術協会第142回講演大会	—	田光伸也
R2. 9. 23	半熔融成形したAl-7%Si-0.5%Mg-1%Cu合金摩擦撹拌接合材の組織と特性	第176回 鋳造工学会全国講演大会	第176回全国講演大会講演概要集	岩澤 秀
R2. 11. 14	サブナノ秒マイクロチップレーザーを用いたレーザーピーンフォーミング（第五報 純チタンの変形モード）	第71回塑性加工連合講演会	講演論文集	鷺坂芳弘
	サブナノ秒マイクロチップレーザーを用いたレーザーピーンフォーミング（第六報 走査条件の影響）			
R3. 3. 4- R3. 3. 5	金めっきによるラフネス構造の評価と撥水化の検証	表面技術協会第143回講演大会	—	田光伸也
R3. 3. 16- R3. 3. 18	サブナノ秒マイクロチップレーザによるレーザピーンフォーミング（第5報） — 走査方法による成形効率向上 —	2021年度精密工学会春季大会学術講演会	講演論文集	鷺坂芳弘
	反射像の色の違いを利用した表面粗さ測定法の開発			中野雅晴
学会誌及び専門誌への投稿				
R2. 11. 1	塩化ニッケルめっき浴によるラフネス構造を利用した撥水性皮膜の作製	—	表面技術，第71巻，第11号	田光伸也
R2. 11. 25	静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター — 静岡県の「次世代自動車研究開発支援拠点」としての活動 —	—	日本塑性加工学会誌「ぷらすとす」	松田 稔
R3. 2. 20	シアン化金めっき浴によるラフネス構造の形成と撥水化	—	材料の科学と工学，第58巻，第1号	田光伸也
R3. 1	サブナノ秒マイクロチップレーザーによるレーザピーンフォーミングの変形特性	—	塑性と加工	鷺坂芳弘
R3. 3. 1	Water-repellency and surface roughness with the structures of double layers using electroplated nickel deposit from a chloride bath	—	Transactions of the IMF, Vol. 99, No. 2	田光伸也

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
一般誌等への投稿				
R2. 8. 1	特集※型づくりと金属AM（付加製造）の最新動向 事例3 静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センターにおけるチタンの金属粉末射出成形（MIM）技術とAM 技術への取組み	—	型技術第35巻 第8号	伊藤芳典
展示会への出展				
R2. 11- R3. 3	浜松工業技術支援センター概要	第10回産業振興フェアinいわた（Web）	—	松田 稔
合計件数 14 件		学会等発表 7 件・投稿等 6 件・展示会 1 件		

(2) 令和2年度研究成果一覧

ア 工業技術研究所

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び 普及等の状況	備考
新成長戦略研究	車載光学機器産業を支援する設計・評価・生産支援技術の開発	継続	共同	H30 ～ R2	県の成長産業分野である次世代自動車に求められる車載光学機器の開発にあたり、産業の持続的発展を目的とした先取り型の開発支援のための設計・評価・生産支援技術を完成させる。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
新成長戦略研究	生産基盤拡大に繋がる家畜ふん尿の乾燥及びエネルギー車載技術の開発	継続	単独	H30 ～ R2	家畜ふんのエネルギー利用を進めるため、エネルギー源として品質が確保された家畜ふん乾燥技術や、燃焼時が発生する排ガス対策技術及び再利用技術を開発することで、新たなエネルギー利用システムを構築する。	乾燥家畜ふんにに対し、バイオマスボイラーによる燃焼試験を共同協力機関（県内企業）と共同で行った結果、排ガス中の窒素酸化物及び硫酸酸化物を規制値以下に抑えることができた。	乾燥牛ふん及び他のバイオマスとの混合燃料に対する燃焼試験を通じ、燃焼効率と排ガスの規制基準を両立する条件を明らかにすることで、協力する県内企業への普及を目指す。	畜産技術研究所
新成長戦略研究事業	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	継続	共同	R1 ～ R3	自動車部品へのセルロースナノファイバー（CNF）の活用が期待されているが、ポリプロピレン（PP）・CNFマスタマーバッチを入手できない、求める特性が得られないなどの課題に対応する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	静岡大学 企業3社
新成長戦略研究	IoT導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築	継続	共同	R1 ～ R3	県内企業のIoTへの関心は高いが、資金面や効果に対する不安から、普及が進んでいない。そこで、ポータブルIoT導入パッドの開発、IoT検証ラボの開設、モデル工場の実現と効果分析により、導入を促進する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業2社

新成長戦略研究	マリババイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	新規	共同	R2 ～ R4	マリババイオ関連産業の振興を図るため、海洋微生物を活用した食品開発として、海洋由来の乳酸菌を活用して、清涼感等を増強した甘酒や発酵調味料等の開発を目指した。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	水産・海洋技術研究所 海洋技術支援センター 農林技術研究所 畜産技術研究所 環境衛生科学研究所
県単独研究	作業負担を軽減する新たなアシスト機構の開発	継続	単独	R30 ～ R2	農業、工業、運輸業、介護などの作業において、繰り返しやがむ姿勢が多く、膝などの負担が大きい。歩行の邪魔にならないように配慮した膝の屈伸運動をアシストする機構が求められている。	主に膝に掛かる作業負担軽減の手段として、新たなアシスト機構の設計を行った。現在、アシスト機構の有効性を検証するために実験用モデルを試作する段階である。	開発終了後、学会等で発表し、成果を普及する。	
県単独研究	農業実践例の大規模類似ネットワークに基づくナレッジベースの構築	継続	単独	R1 ～ R2	静岡県立大学（以下、県大）との共同研究「農業実践例の大規模類似ネットワークに基づくナレッジベースの構築」の枠組みの中で実施する。	安価なデバイスを用い、バラバラのビニールハウスの環境データのセンシングや圧縮、LPWAによるデータ送信が可能なIoTシステムを試作し、環境情報の収集を行った。	学会発表1件、論文投稿1件。	静岡県立大学 東京工科大学 神奈川大学 理化学研究所
県単独研究	家具の品質向上に向けた要素技術の開発	継続	単独	R1 ～ R2	家具の品質向上のために、① 勢いよく座った時の破損を模擬する試験の実施② 木工プレス機の適切な荷重管理、について製品への影響を調査し、改善すべき点を抽出する。	椅子への力のかかる状況をモニターし、新たな試験方法を提案した。プレスの荷重モニター装置を試作し、県内木工企業で動作確認を行い高評価を得た。	県内企業に対して、試験方法の提案やプレス機荷重の見える化装置を提案し、品質向上に役立てる。	
県単独研究	積層板の音響特性における接着剤の影響	継続	単独	R1 ～ R2	静岡県は楽器生産が盛んで出荷量が多い。高音質な楽器の製造には材料の特性向上は重要である。CNFを添加した接着剤を使用した積層板について、振動特性への影響を調査し、楽器用途への展開を検討する。	CNFをPVAcに添加することで、硬度補強効果が認められ、長繊維CNFの添加が有効であった。 音響特性には高強度接着剤・長繊維CNF添加接着剤の使用が有効であった。	音響特性の選材向上を目的に、CNF添加接着剤の振動特性データを蓄積し、残響制御機能を活かした用途開発につなげる。	

県単独研究	セルロースナノファイバーの機能性イバナーによる機能性成分の徐放化と挙動解明	新規	単独	R2 ～ R3	セルロースナノファイバーの化粧品への添加によって付与される「香りの徐放性」の発現メカニズムを解明し、その制御技術を確立する。	共焦点レーザー顕微鏡により、香り、CNFの種類を変更してもピッキングエマルションが形成することが明らかとなった。CNFの種類により香りの放散挙動が変化することとが明らかとなった。	県内企業と共同で、県産の香りを活用した製品（雑貨や化粧品・食品等）や 徐放性の技術を提案し、県内外に発信することとで、研究成果の普及を図る。	
県単独研究	スキンケア素材の探索と機能性向上を目的とした乳酸菌発酵	新規	単独	R2 ～ R3	静岡県の豊富な農林水産品から抽出されるエキス、種子油、香り等について、化粧品として有用な機能性素材を探索し、機能性発現の作用機序を明らかにする。さらに乳酸菌発酵により機能性強化を試みる。	これまでに数種の県産品に、抗炎症や美白に対する機能性を見出した。抗炎症素材中の含有成分について数種の化合物を特定した。	得られた知見を県内事業者に提供することで、化粧品・スキンケア商品への製品開発に取り組む予定。	静岡県立大学
一般共同研究	EVシフトに要求される欠陥レスで高密着な樹脂めっきの作製	継続	共同	R1 ～ R2	県内企業へのEVシフト対応支援を目的として、PPやPC樹脂等の自動車用樹脂材料へのめっきを対象に、環境負荷の少ないエッチング法及びめっき欠陥の発生を抑制するための処理技術を開発する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	射出成形における部材金属と樹脂の表面特性向上に関する研究	継続	共同	R1 ～ R2	レンズ用透明樹脂部品は、光源付近で使用されるため、微小異物等の欠陥に厳しく、高い良品基準が要求されている。成形機部品材料と樹脂の剥離性を評価し、表面の特性改善を行い不良の低減を図る。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	樹脂中に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	継続	共同	R1 ～ R3	共同研究先要望により公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	医療機関と連携した人間中心設計による医療機器の開発	継続	共同	R1 ～ R2	企業からカフ圧自動管理機器の改良に関する相談があったため、本研究では看護師にとって使いやすいカフ圧管理機器を人間中心設計により開発した。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	静岡県地域企業等へのIoT導入強化に関する研究	新規	共同	R2 ～ R4	現在取り組んでいる県内中小企業へのIoT技術の導入支援をさらに強化するため、産総研との共同研究を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	産総研 産業技術総合研究所

一般共同研究	小児・嚥下困難者のための錠剤粉剤・散剤混合技術の開発	新規	共同	R2	自転公転式ミキサーにより、錠剤を破碎して得られる散剤や、顆粒剤、細粒剤及び散剤の混和物について粒度分布及び電子顕微鏡による形状評価を実施する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	静岡県立大学
一般共同研究	駿河湾由来カロテノイド生産微生物ライブラリーの構築とサプリメント開発への応用	新規	共同	R2 ～ R3	海洋微生物を活用したマリニンバイオ産業創出と県内食品製造工場で発生する糖質系固体バイオマスの高付加価値利用技術の開発を目的として、カロテノイド生産海洋微生物の分離及び育種を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社 静岡県立大学
受託研究（競争的資金による研究） 戦後基盤技術高度化支援事業（経産省）	次世代コミュニケーションの微細高精度化に対応する金型加工技術の確立	継続	受託	R30 ～ R2	自動運転に必要なコミュニケーションランブの金型製造を可能とするため、大型かつ超精密加工を可能とする加工技術を開発する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 戦後基盤技術高度化支援事業（経産省）	エアコン用圧縮機の省エネと小型化を両立する高強度軽量スクロール翼のニアネット鑄造技術の開発	継続	受託	R2 ～ R3	高圧鑄造技術を中核技術としてエアコンに要求される鑄鉄並みの機械的特性を有する軽量な高強度アルミニウム基複合材料の開発と3次元複雑形状を有するスクロール翼を造形するためのプロセス開発を行う。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 新成長産業戦後基盤技術育成事業助成事業（県産業振興振作局）	小型・低コストバイオマスガス化発電システム・実証機の開発	継続	受託	R1 ～ R3	農林業のニーズに応えるために、小型・低コストバイオマスガス化発電システムを開発する。高効率化及び低コスト化を図る上で必要な技術要素を一体化させたユニット（実証機）を製作する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 先端企業育成プロジェクト推進事業（県新産課）	複数場の同時制御プロセスによるリサイクル可能な超軽量ルチウム材の開発	新規	受託	R2 ～ R4	次世代自動車に要求される軽量部材を実現するために、温度と圧力の同時制御による異種材料を一体化により接合したマルチ部材の量産対応の工業プロセスを開発し、リサイクル技術まで確立する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

受託研究（競争的資金による研究） 国際標準化事業（経産省）	フレキシブル面光源の性能評価のための光学特性測定に関する国際標準化	新規	受託	R2～R4	フレキシブル面光源の最大の特徴である形状の可変性に応じた性能評価のための測光方法を研究し、国際電気標準会議（IEC）に規格原案を提案する。	受託研究につき公表を控えめす。	受託研究につき公表を控えめす。	山形大学
受託研究（競争的資金による研究） MeOI事業化促進事業（県産業イノベーション課）	マグロ未利用部位プロテオグリカン抽出技術の検討	新規	受託	R2	静岡県は、マグロ（きはだ）水揚げ日本一を誇る。その加工未利用部位から機能性が期待されるプロテオグリカンを抽出し、食品・化粧品素材の開発を目指す。	受託研究につき公表を控えめす。	受託研究につき公表を控えめす。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） CNF活用試作品開発事業（県新産創）	セルロースナノファイバーを活用した皮膚塗布用の茶カテキンクリームの開発	新規	受託	R2	茶カテキンを化粧品原料として有効に活用するために、CNFによるカテキンの色調変化抑制、EGCGの安定効果を調べ、安定性の高いカテキンクリームの処方を確立することを目指した。	受託研究につき公表を控えめす。	受託研究につき公表を控えめす。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 新成長産業創出的育成事業助成事業（県産業振興課）	セルロースナノファイバーを活用したアロマ・基礎化粧品の開発	新規	受託	R1～R2	セルロースナノファイバー（以下、CNF）を活用して、ヒトへの心理・生理効果が期待される機能性の香り成分を含有するアロマ・基礎化粧品（乳液）を試作開発することを目的として、試験を行った。	受託研究につき公表を控えめす。	受託研究につき公表を控えめす。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 新成長産業創出的育成事業助成事業（県産業振興課）	微細化緑茶分散液の物性評価	新規	受託	R2	微細化緑茶分散液について、新たな機能を持つ食品素材として製品化を検討するため、微細化方法の違いによる粒度分布、香気成分、粘度及び固形分に関する沈降性の変化率について評価を行った。	受託研究につき公表を控えめす。	受託研究につき公表を控えめす。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 医療機器産業基盤強化推進事業（県産業振興課）	自転公式攪拌装置による錠剤粉砕および散剤混合の分析	新規	受託	R2	「株式会社センシングが開発した自転公式ミキサー」おくすりmiksi”試作機により、錠剤を破砕して得られる散剤や、顆粒剤、細粒剤及び散剤の混和物について粒度分布及び電子顕微鏡による形状評価を実施する。	受託研究につき公表を控えめす。	受託研究につき公表を控えめす。	企業1社

受託研究（競争的資金による研究） 食品等開発助成事業 （県産業振興財団）	新規	受託	R2	静岡冷凍倉庫㈱が店舗で提供している かき水用アイシーシロップを、自宅用商品 として開発する。パッキンシロップの加工 熱殺菌処理の影響を評価し、賞味期限設 定のための保存試験及び色調等の物性評 価を実施する。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 食品等開発助成事業 （県産業振興財団）	新規	受託	R2	経験的菓子やケーキの食品物性改良 に使用されている食品CNFについて、加工 食品に利用するため、その使用方法や保 存方法が食品物性に与える影響を明らか にすることを目的とする。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 地域課題に係る産学 共同研究委託事業 （β-nest）	新規	受託	R2	マイクロ波滅菌技術を魚節に応用 し、マイクロ波抽出によるフレーバーエ キスの試作、エキスをを用いた試作品の開 発、成分分析（香気分析、アミノ酸分析 等）により、このエキスをを用いた試作品 を開発すること。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 地域課題に係る産学 共同研究委託事業 （β-nest）	新規	受託	R2	静岡県自然からチーズ製造に向く 乳酸菌を選抜し、静岡チーズを試作す る。試作チーズについて成分分析を行う ことで、乳酸菌により付与されるチーズ の特徴を明らかにする。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 連携組織経営基盤 強化支援事業（県中 央会）	新規	受託	R2	県内産山椒の加工を支援するため、山 椒を用いた芳香蒸留水の試作開発や試作 品の最適な蒸留法の検討や香り等の特性 評価を行った。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） A-STP トライアウト （JST）	新規	受託	R2 ～ R3	共同研究機関が県内で重複稼働してい る、脂質高含有廃棄物のメタン発酵処理 プラントの菌叢解析を行い、発酵管理指 標となる微生物の特定とプラント管理条 件の最適化を行う。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	企業2社 産業技術総合 研究所

受託研究（競争的資金による研究） 先端企業育成プロジェクト推進事業（県新産業）	木質原料の前処理による流動成形性の改善と品質安定化	新規	受託	R2	特定の条件下において木材の細胞同士の間で「すべり」が生じる現象（流動現象）を利用して、樹脂や金属のように金型に沿って流動させて三次元成形体に加工作る方法での製品の強度等の評価を行う。	受託研究につき公表を控えめ す。	受託研究につき公表を控えめ す。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	回分式メタン発酵試験によるメタン発酵消化汚泥の特性評価	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えめ す。	受託研究につき公表を控えめ す。	受託研究につき公表を控えめ す。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	介護動作指導支援システムの改良提案およびユーザーザビリティ評価	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えめ す。	受託研究につき公表を控えめ す。	受託研究につき公表を控えめ す。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	脱灰処理を利用した活性炭炭製造のスケールアップ効果の検証	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えめ す。	受託研究につき公表を控えめ す。	受託研究につき公表を控えめ す。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	不燃ノバーテイクルボードの開発	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えめ す。	受託研究につき公表を控えめ す。	受託研究につき公表を控えめ す。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	CNFを利用した文化財用特殊膠の開発	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えめ す。	受託研究につき公表を控えめ す。	受託研究につき公表を控えめ す。	企業1社

イ 沼津工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び 普及等の状況	備考
新成長戦略研究	次世代型インプラントの型鍛造成形を可能にする設計支援技術の開発	継続	単独	R30 ～ R2	整形外科用インプラントの低価格、カスタム化の流れに対応するため、型鍛造を取り入れた新たな加工法への転換が必要である。本研究では当該加工法による設計支援技術の開発を可能にする設計支援技術の開発を行う。	型鍛造成形に必要不可欠な、金型形状や成形条件探索等にかかわる設計費を削減出来る支援技術を開発した。これにより、型鍛造インプラントの開発期間を3年から1年へ、試作開発費を7割以上削減させることに成功した。	型鍛造成形法を用いた医療機器開発時の設計支援技術・ツールとして、主に医療機器製造業者に対する技術支援や受託研究、共同研究開発等で活用していく。	
新成長戦略研究	マリニババイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	新規	共同	R2 ～ R4	マリニババイオ産業振興ビジョンに基づき本県海洋資源を活用した食品開発分野における新産業創出を目的に、他産地と差別化可能な海洋微生物を活用したサワビーブル及び山廃仕込み清酒の開発を分担する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	水産・海洋技術研究所 農林技術研究所 沼津技術研究所 環境衛生科学研究研究所
新成長戦略研究 チャレンジャー研究枠	麹菌の脂質代謝を利用した清酒への新規香気成分付与の検討	新規	単独	R2	近年、若者の清酒離れ等により全国的に清酒製造数量は減少傾向にある。そこで本研究では、県産清酒の更なる差別化及び高品質化を図るために、麹菌を介して生成される新規吟醸香の獲得を目指す。	麹菌の脂質代謝の評価を行うとともに、新しい酵母のβ酸化脂肪酸測定手法を見出した。	本成果は、速やかに県内清酒製造企業に公表するとともに、新しい麹菌の分離を目指す。	
新成長戦略研究 チャレンジャー研究枠	微生物の機能向上を目指した遺伝子デザイン手法の構築	新規	共同	R2	遺伝子への欠損導入により微生物の機能を強化するための、遺伝子デザイン手法の構築を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	静岡大学
新成長戦略研究 チャレンジャー研究枠	データ圧縮アルゴリズムを活用した画像認識AIにおける効率学習手法の開発	新規	単独	R2	画像認識AIでは大量の学習データが必要となるが、それらデータ取得には多大な労力を要する。本研究では、少量のデータでも認識性能を確保できる、データ圧縮アルゴリズムを用いた新たな画像認識AIを開発する。	データ圧縮アルゴリズムを組み込んだ画像認識モデルを作成し、データ数を削減した場合の精度が向上する傾向が見られた。他、学習時間の短縮等の効果が見られた。	研究協力機関等と連携し、データ取得時のコストが大きい金属材料分野への普及（金属組織から疲労強度を推定等）を目指す。	

一般共同研究	クロム、コバルトを含まず耐食性に優れた電気亜鉛めっき法の開発	新規	共同	R2	環境規制の強化により、電気亜鉛めっき時に使用する希少金属（クロム等）の使用が制限され始めています。本研究では、それら希少金属を使わず安価で耐食性に優れた亜鉛めっき技術の確立を目的とします。	共同研究につき公表を控えめします。	共同研究につき公表を控えめします。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 新成長産業戦略的育成事業助成事業（県産業振興財団）	人工設計情報からの有用タンパク質作製検討	新規	受託	R2 ～ R3	委託先要望により公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 一般発展型研究助成事業（東海産業技術振興財団）	発酵産業への応用を志向した静岡由来微生物資源からの新規抗菌物質の探索	新規	受託	R2	委託先要望により公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	静岡大学
受託研究（競争的資金による研究） 新成長産業戦略的育成事業助成事業（県産業振興財団）	温間プレス加工後の材料評価と塑性加工シミュレーションによる原材料形状の検討	新規	受託	R2 ～ R3	プレス加工条件の違いにより材料状態が変化する可能性があるため、加工条件の違いが加工後の材料状態に及ぼす影響を調査する。また、材料の無駄を省き、目的とする形状を得るため、最適な原材料形状を検討する。	受託研究につき公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	委託先要望により公表を控えめします。	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	委託先要望により公表を控えめします。	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	委託先要望により公表を控えめします。	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	委託先要望により公表を控えめします。	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	企業1社

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	備 考
新成長戦略研究	次世代自動車軽量化 のためのCNF複合材 の開発	継続	単独	R1 ～ R3	自動車用部材等の成形に必要なマスターパーバッチを開発し、県内企業にマスターパーバッチの提供と製造技術の普及を行うことにより、企業のCNF関連産業への参入を推進する。	リファイナードを使用しマスターパーバッチに適したCNFを作製した。BCTMPから作製した複合材の強度が高かった。またリファイナードで作製したCNFを原料にマスターパーバッチを作製し、実機で自動車部材を成形した。	企業訪問、技術相談などを通して成果の普及を進めている。	静岡大学
県単独研究	再生紙の低密度化に 関する研究	継続	単独	R1 ～ R2	特殊更紙は古紙品質の低下で製品品質も低下傾向で、重要な紙厚確保のため価格は変えず原料を多く使用しており、県内メーカーからコスト低減に寄り、品質向上にも役立つ低密度化の技術調査・開発を要望された。	抄紙原料を加熱熟成すると低密度化できることを見出した。低密度化の要因と考えられる機械パルプは通常の特許更紙原料よりも約40%低密度化できた。得られた知見により再生手すき紙を30%低密度化できた。	1社でプレス圧を制御して適切な坪量の緩衝材用紙製品を製造している。別の1社では段ボール古紙を配合して緩衝材用紙製品・製袋原紙を製造している。1社で5%低密度化した特殊更紙製品ができた。	
県単独研究	ほぐれやすさ試験機 の技術開発	新規	単独	R2	トレットペーパーの重要な品質試験項目であるほぐれやすさは、専用の試験機が無く公的試験機関や製紙工場の間で結果に整合性がない。近年、業界から、正しい結果が得られる試験機の開発を強く要望されている。	様々なほぐれやすさを持つトレットペーパーの評価に對して、これまで使用していた試験機と同等の結果を安定的に再現できるほぐれやすさ試験機を開発できた。	今回の研究成果を活かし、協力会社は製品化し、2021年4月に販売開始予定である。学会にて研究成果を発表するとともに、家庭紙製造企業への技術相談の対応など、業界への積極的な情報発信を行う。	
県単独研究	プラズマ照射による 樹脂表界面の新規改 質技術の開発	新規	単独	R2 ～ R3	樹脂材料に塗装やめっき等を施す際、材質表面改質の前処理が必要となる。材料の表面改質では大きく複雑形状の樹脂の前処理用手法がなく、効率的で生産性の高い方法が求められている。	県内企業や県外公設試との連携関係を築き、プラズマ照射による前処理法を用いて樹脂めっきを実施し、密着強度が実用レベルに迫ることを示した。	県内企業にプラズマ照射を用いた前処理法の長所を広報している。	
一般共同研究	樹脂中に含まれる微 小な植物繊維の定量 評価法検討	継続	共同	R1 ～ R3	共同研究先要望により公表を控えま す。	共同研究につき公表を控えま す。	共同研究につき公表を控えま す。	企業1社

一般共同研究	CNF製造に関する解 繊エネルギーの低減	継続	共同	R1 ～ R3	共同研究先要望により公表を控えま す。	共同研究につき公表を控えま す。	共同研究につき公表を控えま す。	企業1社
一般共同研究	古紙等のパルプ繊維 を複合化したハイブ リッド樹脂における CNF分散制御技術の 確立	継続	共同	R1 ～ R3	共同研究先要望により公表を控えま す。	共同研究につき公表を控えま す。	共同研究につき公表を控えま す。	企業1社
一般共同研究	計測・センシング技 術の動物繁殖現場へ の応用展開	継続	共同	R1 ～ R2	H28年度までに製品化した介護用見 守りシステムを動物分野に応用し、 様々な繁殖環境に適応可能な牛の分娩 検知技術の開発、製品化を行う。	共同研究につき公表を控えま す。	共同研究につき公表を控えま す。	企業1社 畜産技術研 究所

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	備考
新成長戦略研究	新成長分野発展に貢献 する軽量高強度材料 (CFRP)の高効率成形加 工技術の確立	新規	単独	R2 ～ R4	炭素繊維強化複合材料は短時間成形 が課題となっており利用・普及が進ん でいない。そこで、大量生産に対応し た成形加工技術を確認し、軽量素材と しての利活用の促進を図る。	アルミニウムダイカストと 同等程度の強度で5分程度の 生産サイクルに対応した加工 技術を確認することで、地域 企業が開発する自動車やロボ ット等の部品への採用を目指 す。	協力機関である浜松地域CFRP 事業化研究会を通して会員企業 等に技術普及を進める。	
県単独研究	分光特性を利用したも のづくりの品質検査に 関する研究	継続	単独	R0 ～ R2	品質管理では樹脂製品の残留応力や 金属表面の形状を非破壊・非接触で評 価することが必要とされている。本研 究では、対象の分光特性を利用した樹 脂内部の応力分布と大面積の表面粗さ 分布を測定する技術を確認する。	見た目が不透明な樹脂の応 力により発生する複屈折分布 を開発した装置で可視化し た。表面粗さの測定技術開発 では、試料形状と分光反射率 の相関を評価し、色彩計測で 粗さを推定できることを確認 した。	開発した複屈折分布可視化装 置を用いて、樹脂製部品の残留 応力を問題として抱える企業を 支援した。また、色計測により 定量的に表面粗さを推定する技 術に関する研究成果を学会で発 表した。	
県単独研究	材料評価・解析のス キルアップに向けた サンプリングメソッ ドの開発	継続	単独	R1 ～ R2	材料の評価・解析業務において、対 象サンプルを採取することが困難な 「難サンプリング材」に関する技術相 談が多い。そこで、様々な難サンプリ ング材を適切かつ効率的にサンプリン グするメソッドを開発する。	依頼試験・分析、技術相談に おいて有用な48項目のサンプリ ングメソッドを開発し、科内で 情報共有・継承する環境を整え た。 これまで実施が困難だった事 案でも対応可となったケースも 増えた(10社15件程度)。	評価・解析スキルが高度化さ れ、所要時間の短縮とサービス の質が向上しつつある。また、 適用可能なケースの大幅な拡大 も見込まれるため、今後、多種 多様な企業からの依頼分析・技 術相談への対応が可能となる。	
県単独研究	3D熱変形計測技術 応用した次世代自動車 用部品の開発プロセス の効率化	新規	単独	R2 ～ R3	3D熱変形計測・評価技術、熱変形 予測シミュレーション技術を活用し て、企業が取り組む次世代自動車部品 の開発プロセスの効率化を支援する。	次世代自動車部品用に関し て、3D計測装置を関連して、 熱変形の評価試験を行った。 また、摩擦接合に関する 物性試験も3D計測装置で行 った。	次世代自動車用部品を開発す る企業に対して、3D計測装置 による試験データを提供し、製 品開発プロセスの効率化を支援 している。	

県単独研究	車載機器用EMC試験における測定値のサイト間比較による測定信頼性の向上	新規	単独	R2 ～ R4	平成30年度に車載機器用のEMC試験を行う試験施設を開所した。本施設で得られる試験データの信頼性を保証するため、他の試験サイトと同条件の試験を行い、サイト間の「測定値のずれ」を比較する。	国際規格に規定された「ロングワイヤーアンテナ法」を用いて、当センター及び協力機関などの車載機器用電波暗室におけるEMC試験環境の評価を行った。	利用者に対して当サイトで得られるデータの信頼性を担保するとともに、その試験データの傾向について情報提供を行う。	
一般共同研究	ダイヤモンド焼結体(PCD)工具のレーザー加工技術の開発	新規	共同	R2 ～ R3	超短パルスレーザーによるPCD加工について、ダイヤモンド層とグラフィイトなど変質層の割合等の表面性状及び刃先丸み等の外観形状と、工具寿命との相関を調べ、PCD工具のレーザーによる加工手法を確立する。	共同研究につき公表を控えま	共同研究につき公表を控え	
受託研究（競争的資金による研究） 研究成果展開事業 A-STEP機能検証フェーズ（JST）	めっき技術による撥液性皮膜作製技術の開発	継続	受託	R30 ～ R2	医療・バイオ・環境など様々な分野で微量の液体を扱う技術が採用されており、液離れを容易にする撥液性を金属面に付与する技術が望まれている。本研究では手軽な「めっき」を用いた撥液性表面作製技術を開発する。	受託研究につき公表を控え	受託研究につき公表を控え	企業1社 静岡理工科大学
受託研究（競争的資金による研究） 中小企業経営支援等 対策費補助金（戦略的基礎技術高度化支援事業）	マイクロテクスチャエンドミルの主軸反転・傾斜切削による超微細パウダー製造技術の開発	継続	受託	R1 ～ R2	近年、3Dプリンタなどに使用する微細なパウダーの需要が高まっている。本研究では切削工具に微小テクスチャを付与し、工具回転軸を傾斜した切削技術を用いることで、微細なパウダーを製造できる技術を開発する。	受託研究につき公表を控え	受託研究につき公表を控え	企業1社 東京電機大学 光産業創成大学院大学
受託研究（競争的資金による研究） 研究成果展開事業 研究成果最適展開 支援プログラム（A-STEP）トライアウト（JST）	眼鏡レンズのレーザー染色におけるスマート加熱	新規	受託	R2 ～ R3	眼鏡レンズのレーザー染色においては、均一な染色を実現するためには、レンズ表面の加熱制御が重要である。そこでレンズ表面を均一に加熱できるレーザー出力の制御方法を提案・検証し、有効性を示す。	受託研究につき公表を控え	受託研究につき公表を控え	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	自動車フォグランプのレーザー溶着	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控え	受託研究につき公表を控え	受託研究につき公表を控え	企業1社

受託研究（競争的資金以外の研究）	アルミニウム合金鑄造材の摩擦攪拌プロセスに関する研究開発	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	X線残留応力測定装置を用いた硬さ測定に及ぼす鋼種及び表面状態の影響	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	圧縮成形によるコイル形状変化の検討	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	各種コーティング膜の機能・性能向上のための評価解析	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	レーザー除染技術の実用化に向けた研究開発	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	製造工程で使用する各種樹脂材料の条件の最適化に関する研究	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	FRP成形用UDテープ製造装置搬送ベールの劣化評価	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	高比重成形材を用いた成形品の品質評価	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	生分解性プラスチックの紡糸に関する研究	新規	受託	R2	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

静岡県工業技術研究所

〒421-1298 静岡市葵区牧ヶ谷2078

TEL 054-278-3028 FAX 054-278-3066

静岡県工業技術研究所

沼津工業技術支援センター

〒410-0022 沼津市大岡3981-1

TEL 055-925-1100 FAX 055-925-1108

静岡県工業技術研究所

富士工業技術支援センター

〒417-8550 富士市大淵2590-1

TEL 0545-35-5190 FAX 0545-35-5195

静岡県工業技術研究所

浜松工業技術支援センター

〒431-2103 浜松市北区新都田1-3-3

TEL 053-428-4151 FAX 053-428-4160

令和2年度 年報
静岡県工業技術研究所

令和4年2月発行（2022）

編集・発行 静岡県工業技術研究所
企画調整部
〒421-1298 静岡市葵区牧ヶ谷2078
TEL 054-278-3028
FAX 054-278-3066